Kodak EasyShare P880
ズームデジタルカメラ



ユーザーガイド

www.kodak.co.jp

カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp

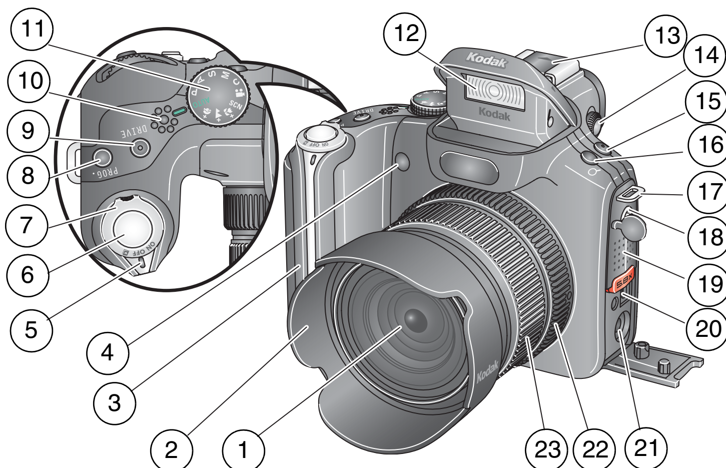


Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

すべての画面はハメコミ式合成です。

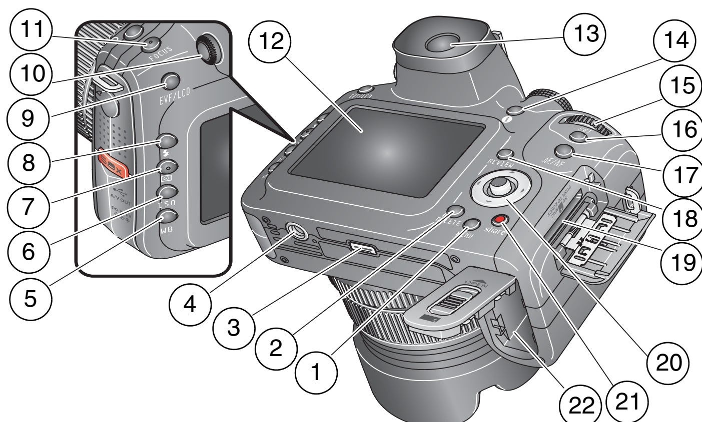
P/N 4J3599_ja

前面図



1 レンズ
2 レンズフード
3 グリップ
4 セルフタイマー／AF 補助光 LED
5 電源 LED インジケータ
6 シャッターボタン
7 モード／電源スイッチ
8 Program（プログラム）ボタン
9 Drive（ドライブ）ボタン
10 マイクロフォン
11 モードダイヤル
12 フラッシュ
13 ホットシュー
14 視度調整ダイヤル
15 Focus（フォーカス）ボタン
16 デジタルズームボタン
17 ストラップ取り付け部
18 外部フラッシュコネクタ
19 スピーカー
20 A/V 出力／USB 端子
21 DC 入力（5V）端子
22 マニュアルフォーカスリング
23 マニュアルズームリング

背面図



1	Menu（メニュー）ボタン	12	液晶モニター
2	Delete（削除）ボタン	13	EVF（電子ビューファインダー）
3	ドックコネクタ	14	情報ボタン
4	三脚ねじ穴	15	コマンドダイヤル
5	WB（ホワイトバランス）ボタン	16	Set（セット）ボタン
6	ISO ボタン	17	AE/AF ロックボタン
7	測光ボタン	18	Review（再生）ボタン
8	フラッシュボタン	19	SD または MMC カード（別売）用スロット
9	EVF ／ LCD 切り替えボタン	20	ジョイスティック（◀/▶ 、▲/▼）／ OK ボタン（押す）
10	視度調整ダイヤル	21	Share（シェア／共有）ボタン
11	Focus（フォーカス）ボタン	22	電池挿入口

目次

1 カメラのセットアップ 1
ストラップとレンズキャップの取り付け 1
レンズフードの取り付け 2
電池の充電 2
電池の装着 3
カメラの電源をオンにする 3
言語と日付／時刻の初期設定 4
2 回目以降の言語と日付／時刻の設定 4
SD または MMC カードへの画像の保管 5

2 画像と動画の撮影 6
画像の撮影 6
光学ズームの使用 10
AF 補助光 LED の使用 11
フリップアップ式フラッシュの使用 11
外部フラッシュユニットの使用 12
画像と動画の再生 13
画像と動画の保護 17

3 画像の転送およびプリント 19
ソフトウェアのインストール 19
画像の転送 20
Kodak EasyShare プリンタードックまたは
コンピュータを使用したプリント 21
SD または MMC カードに保存されている画像のプリント 21
プリントのオンラインオーダー 22
PictBridge 対応プリンターでのダイレクトプリント 22
カメラとドックの互換性 24

4 カメラのさまざまな利用方法 25
撮影モード 25
Focus（フォーカス）ボタンの使用 31
ドライブモードを使用した、セルフタイマー、
連写、測光ブラケティング設定 32
AE/AF（自動露出／オートフォーカス）ロックボタンの使用 36
マニュアルフォーカス（MF）アシスト AF の使用 38
Program（プログラム）ボタンの使用 39
フラッシュ設定の変更 41
PASM モードと C モード 42
コマンドダイヤルを使用した高速設定変更 47
ハイライト／シャドウクリッピングの使用 48
ヒストグラムの使用 49
撮影設定の変更 50
静止画と動画の編集機能 61
通常に使用可能な RAW ファイルのコピーの作成 62
画像情報／動画情報の表示 63
画像と動画のコピー 64
スライドショーの実行 65
アルバム名の事前設定 66
画像の共有 69

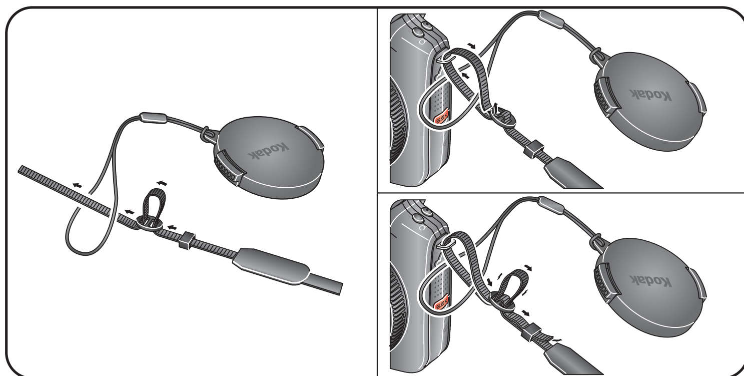
5 トラブルシューティング（こんなときは？） 76
カメラに関して 76
コンピュータ／接続に関して 79
画質に関して 80
ダイレクトプリント（PictBridge）に関して 81

6 サポート情報 83
役に立つリンク集 83
電話によるカスタマーサポート 84

7 付録 86
カメラの仕様 86
保管容量 91
節電機能 93
アクセサリー 94
安全に関する重要事項 95
電池に関する情報 97
ソフトウェアとファームウェアのアップグレード 98
その他の手入れとメンテナンス 98
保証 99
規格との適合 101

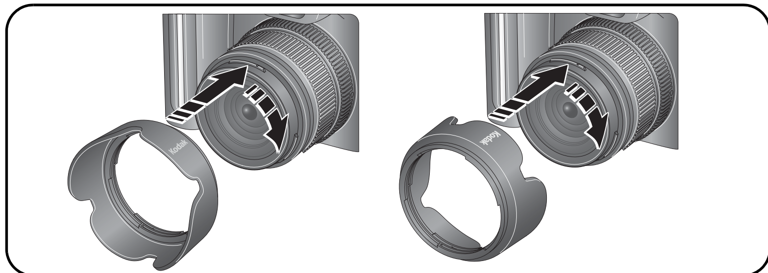
1　カメラのセットアップ

ストラップとレンズキャップの取り付け



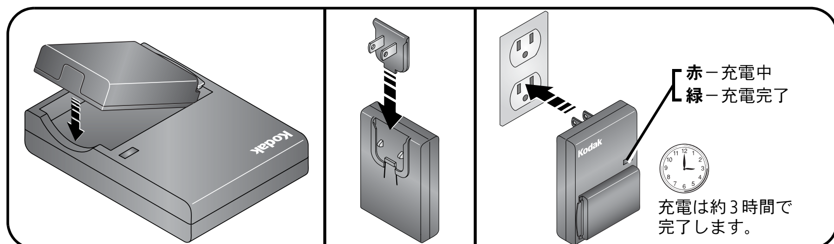
レンズフードの取り付け

レンズフードは、不要な太陽光からレンズを保護するときに使用します。保護する必要がない場合や、フラッシュを使用する場合は、レンズフードを逆向きに取り付けてください。レンズアクセサリーについては、94 ページを参照してください。



電池の充電

リチウムイオン充電式電池は、初めて使用する前に充電する必要があります。



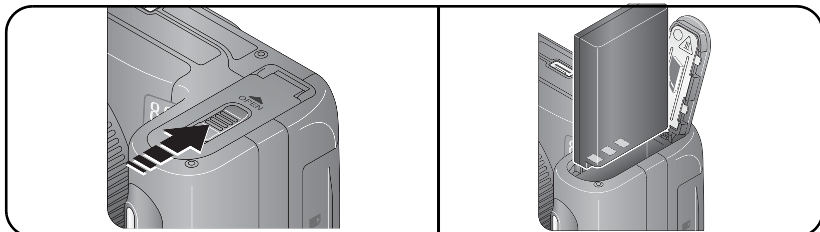
Kodak EasyShare プリンタードックまたはカメラドックを使用して、電池を充電することもできます。詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

電池の装着



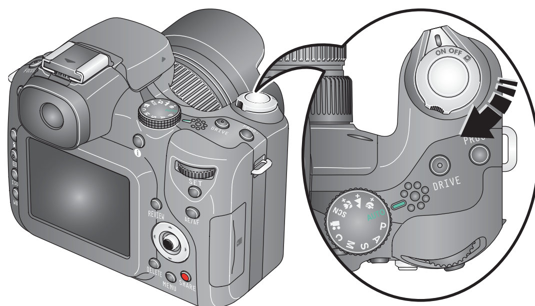
注意 :

Kodak リチウムイオン充電式電池(KLIC-5001)の使用をお勧めします。



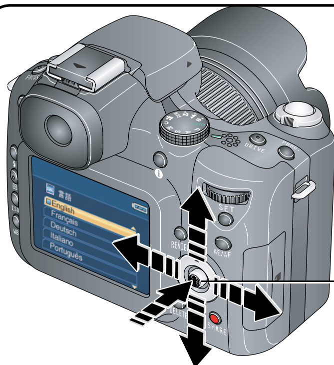
電池を交換する方法と長持ちさせる方法については、97 ページを参照してください。

カメラの電源をオンにする



- **ON** 撮影 : 画像や動画を撮影します。
- ♥ お気に入り : お気に入りを表示します。71 ページを参照してください。

言語と日付／時刻の初期設定



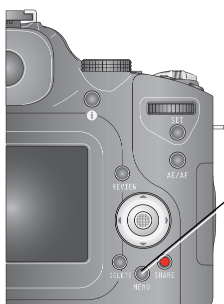
言語：

1. ▲/▼ を動かして［言語］を選択します。
2. OK ボタンを押します。

日付／時刻：

1. ▲/▼ を動かしてオプションを選択し、OK ボタンを押します。
2. ▲/▼ を動かして変更します。◀/▶ を動かして前／次の項目に移動します。
3. OK ボタンを押します。

2 回目以降の言語と日付／時刻の設定

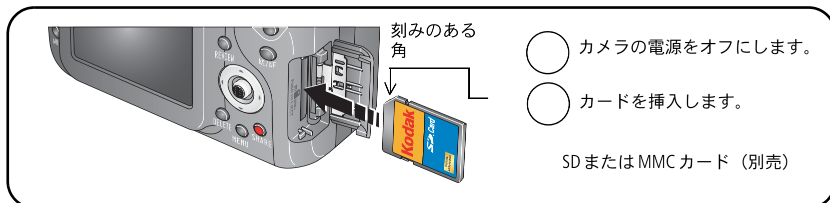


1. Menu（メニュー）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。
2. ◀/▶ を動かして［設定］を選択します。
3. ▲/▼ を動かして［言語］または［日付／時刻］を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼ を動かして変更します。
   ◀/▶ を動かして前／次の項目に移動します。
   OK ボタンを押します。

SD または MMC カードへの画像の保管

カメラには 32 MB の内蔵メモリーが搭載されています。SD または MMC カードを購入すれば、さらに多くの画像や動画を保管できます。Kodak カードの購入をお勧めします。

注： 初めてカードを使用する場合は、撮影する前にカメラでカードをフォーマットしてください（54 ページの表を参照）。



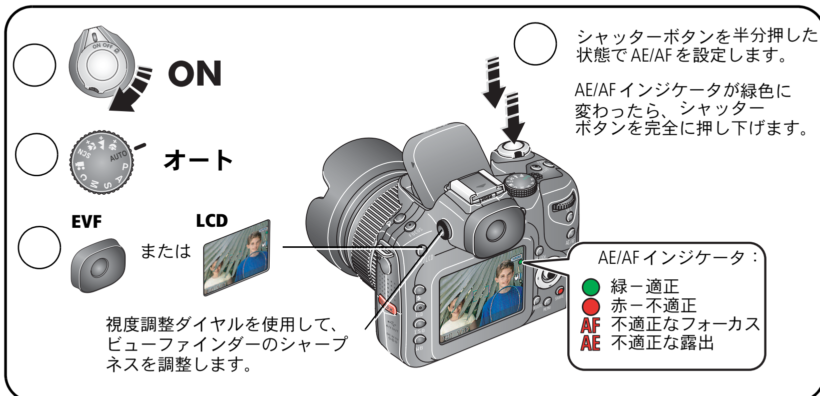
 **注意：**

カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。

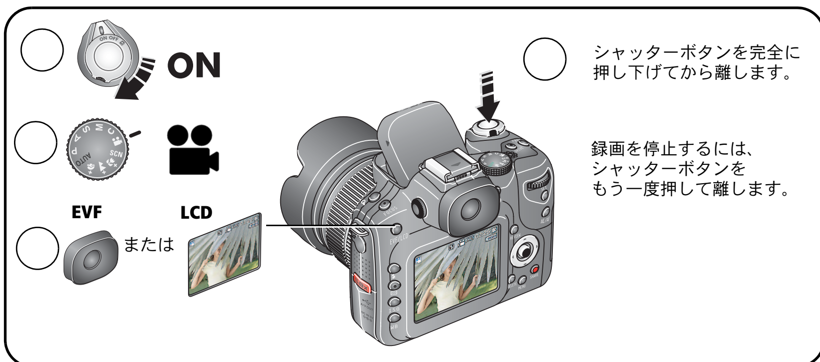
保管可能容量については、91 ページを参照してください。Kodak 社の SD/MMC カードは、日本ではレキサー・メディア社が取り扱っております。

2 画像と動画の撮影

画像の撮影

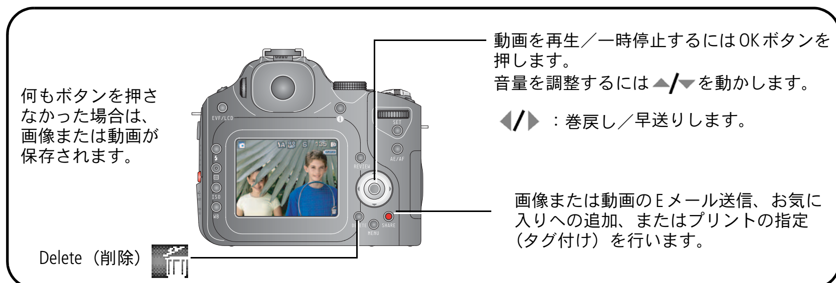


動画の撮影



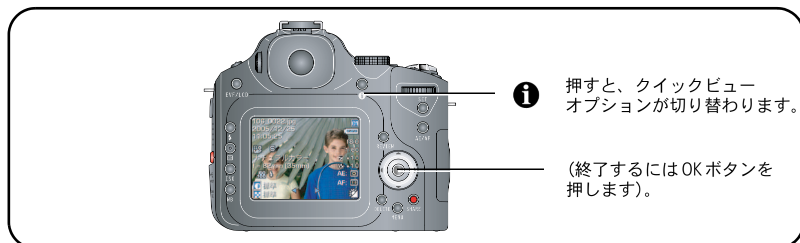
撮影した画像または動画のクイックビュー

画像または動画を撮影した後に、EVF または液晶モニターにクイックビューが約 5 秒間表示されます。画像または動画が表示されている間は、次の操作を行うことができます。



画像や動画を再生する方法については、13 ページを参照してください。

カメラ設定／画像設定の確認

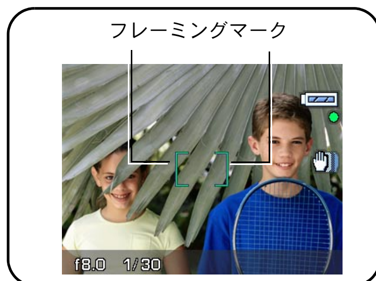


再生モードで画像／動画情報を表示する方法については、63 ページを参照してください。

オートフォーカス（AF）フレーミングマークの使用

EVF または液晶モニターをビューファインダーとして使用している場合は、カメラの焦点が合っている場所を示すフレーミングマークが表示されます。カメラは、最高の画質を得るために、手前にある被写体に焦点を合わせます。被写体が画面の中心にない場合も同じです。

1 シャッターボタンを**半分押した状態**にします。焦点が合うとフレーミングマークが緑色に変わります。

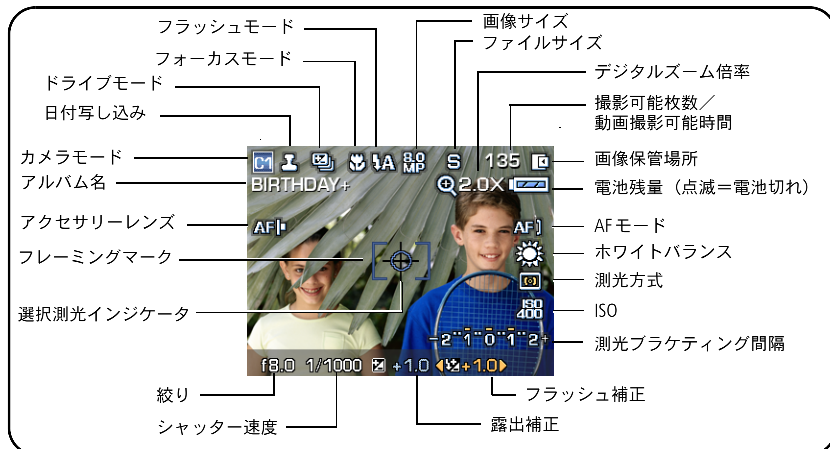


2 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合（またはフレーミングマークが消えている場合）は、シャッターボタンを離し、再度画面の構図を決めます。

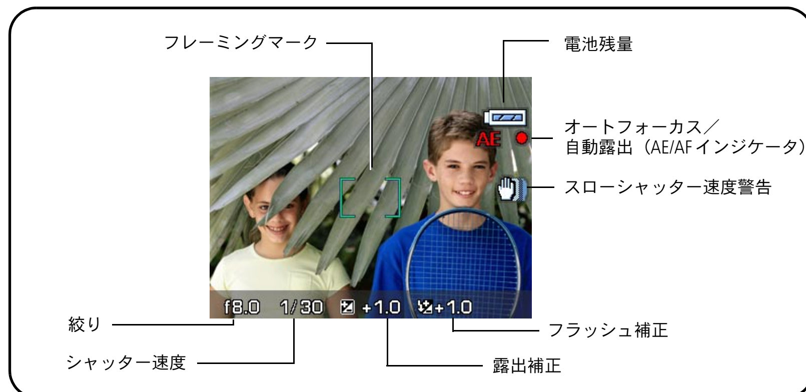
3 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

注： フレーミングマークは、遠景、夜景、または動画モードでは表示されません。オートフォーカス（59 ページの表を参照）を使用してセンター AF を選択すると、フレーミングマークは中央広域に固定されます。

ライブビューでの撮影モード



撮影モード－シャッターボタンを半分押した状態



光学ズームの使用

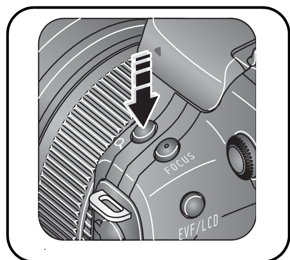
光学ズームを使用すると、被写体を 5.8 倍まで拡大できます。光学ズームは、動画を撮影する前または撮影中に変更できます。



1 EVF または液晶モニターを使用して、被写体を捉えます。
2 マニュアルズームリングを回して、拡大または縮小します。
3 シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点を合わせます。その後で**完全に押し下げて**撮影します （動画を撮影する場合は、シャッターボタンを押して離します）。

デジタルズームの使用

デジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームよりさらに 1.4 倍または 2 倍まで拡大することができます。2 つのズーム設定を組み合わせた場合、5.8 倍から 12 倍まで拡大できます。



1 デジタルズームボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。
2 ▲/▼を動かしてオプションを選択します。
3 OK または Set（セット）ボタンを押します。

ズームアイコンはズーム状況を示します。

4 画像を撮影します。

注： デジタルズームは静止画の P、A、S、M、C でのみ使用できます。デジタルズームを使用すると、画質が低下する場合があります。

AF 補助光 LED の使用

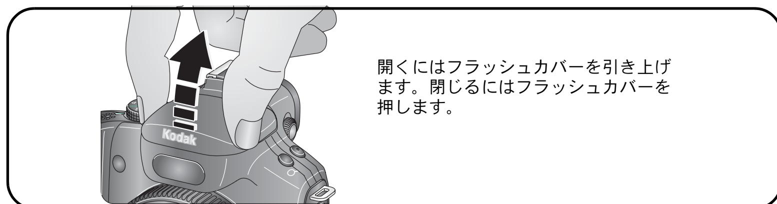
この機能は、暗いシーンで画像をシャープに撮影するために使用します。光の弱い状態でシャッターボタンを半分押し下げると、必要に応じて AF 補助光 LED から光線が短時間放射され、被写体を明るく照らします。AF 補助光 LED は出荷時設定でオンになっています。オン／オフの設定は、設定メニューで変更できます（54 ページを参照）。



フリップアップ式フラッシュの使用

夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使用します。

重要： **フラッシュを使用する場合は、レンズフード（2 ページを参照）を取り外すか逆向きに取り付けてください。**



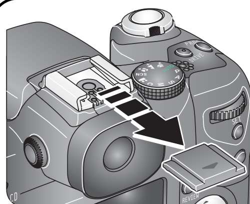
開くにはフラッシュカバーを引き上げます。閉じるにはフラッシュカバーを押します。

フラッシュ設定を変更する方法については41 ページを参照してください。

フラッシュ有効範囲		
ズームの位置	**ガイドナンバー**	**フラッシュ範囲**
広角	9（ISO 100）± 0.5 [EV]	0.5 ～ 4.0 m
望遠	9（ISO 100）± 0.5 [EV]	0.5 ～ 3.1 m

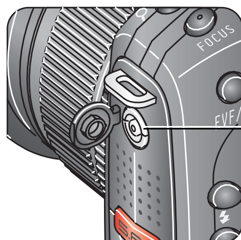
外部フラッシュユニットの使用

明るさを追加する場合や特殊なライティングが必要な場合は、外部フラッシュユニット（別売）を使用します。外部フラッシュユニットの使用には、ホットシューユニットまたは外部フラッシュコネクタが必要です。カメラ内蔵のフラッシュと外部フラッシュを同時に使用して、より強力に強制発光させることもできます。



ホットシューユニット

1. ホットシューカバーをスライドして外します。
2. 外部フラッシュユニットをホットシューに取り付けます。
3. 外部フラッシュユニットの電源をオンにします。



外部フラッシュコネクタ

1. 外部フラッシュコネクタを外部フラッシュコネクタ端子に差し込みます。
2. 外部フラッシュユニットの電源をオンにします。

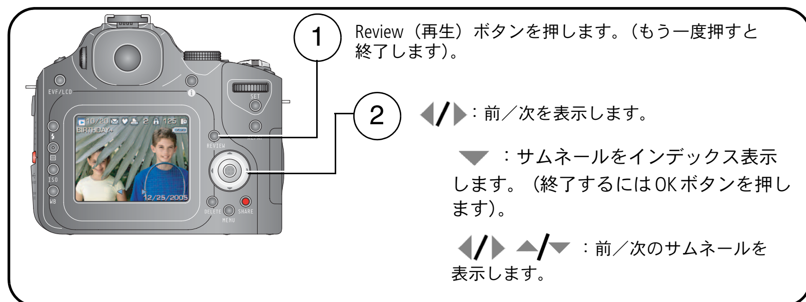
注：このカメラの外部フラッシュコネクタには、すべての標準外部フラッシュケーブル（最大許容電圧 500V）を使用できます。

注： 詳しくは、外部フラッシュユニットの取扱説明書を参照してください。

画像と動画の再生

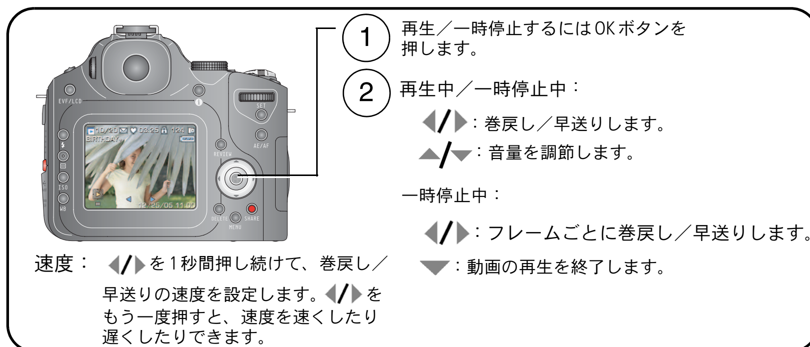
Review（再生）ボタンを押すと、撮影した画像や動画を表示したり操作することができます。

画像



注： 7.1 MP（3:2）で撮影された画像は、3:2の比率で表示され、画面の上部が黒く表示されます。

動画



電池を節約するために、別売のKodak EasyShareカメラドック、またはKodak 5V ACアダプターを使用してください（www.kodak.co.jpを参照)。

再生中の複数画像の選択

Set（セット）ボタンを使用して、再生する画像をセットし、削除（18 ページ）、保護（17 ページ）、コピー（64 ページ）などのさまざまな処理を一括で実行します。

注： カメラの電源をオフにすると、画像の選択は解除されます。

シングル

選択されている 20 枚の画像中の 10 枚目

1 ◀/▶ を動かして画像を選択します。

2 Set（セット）ボタンを押します。
画像がセットに含まれます。

Set（セット）ボタンをもう一度押すと、セットから画像が削除されます。



セット全体の選択を解除するには、カメラの電源をオフにします。

インデックス

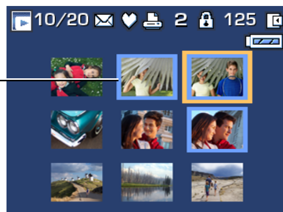
1 Review（再生）ボタンを押します。
（もう一度押すと終了します）。

2 ▼ を押します。

3 ◀/▶ と ▲/▼ を動かして画像を切り替えます。
選択されたセットに含まれる画像が青い枠で囲まれます。
画像を切り替えるたびに黄色い枠が移動します。

4 Set（セット）ボタンを押して画像を選択します。
セット内の選択された数が画面に表示されます。

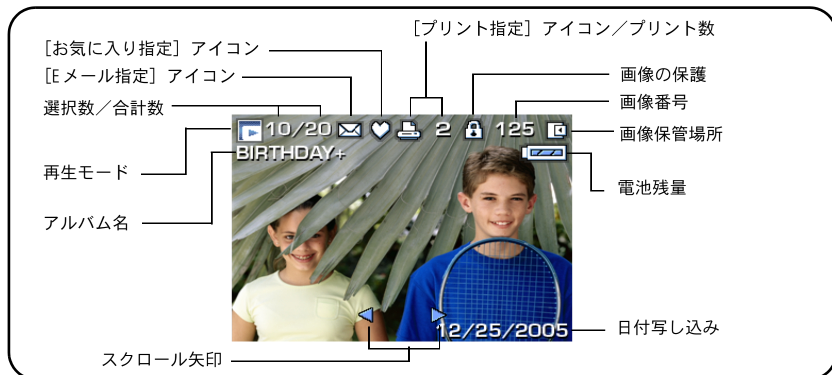
5 次の画像に移動します。



選択を解除するには、Set（セット）ボタンをもう一度押します（セット内の選択された数が消えます）。

再生モードのアイコンについて

画像



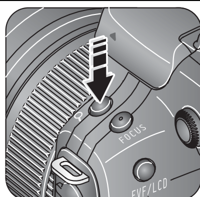
動画



ハイライト/シャドウクリッピングについては48 ページ、ヒストグラムについては49 ページを参照してください。

再生中の画像の拡大

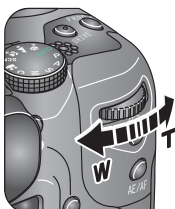
画像を拡大するには、デジタルズームボタンまたはコマンドダイヤルを使用します。



1～10倍に拡大します（2倍きざみ）

デジタルズームボタン

- デジタルズームボタンを押して、画像を拡大します。
  元のサイズ（1倍）に戻すには、OK ボタンを押します。

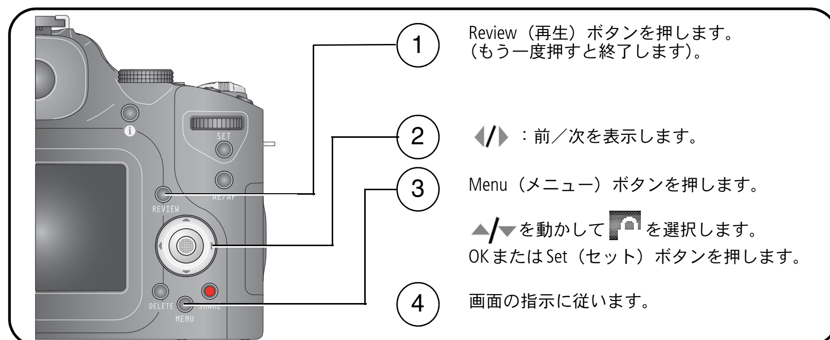


1～10倍に拡大します（1倍きざみ）

コマンドダイヤル

- コマンドダイヤルを回して、拡大または縮小します。
  元のサイズ（1倍）に戻すには、OK ボタンを押します。

画像と動画の保護



［画像］または［動画］— 表示されている画像または動画を保護します。

［終了］—［保護］画面を終了します。

［選択］— 現在の保管場所の選択された画像と動画を保護します。

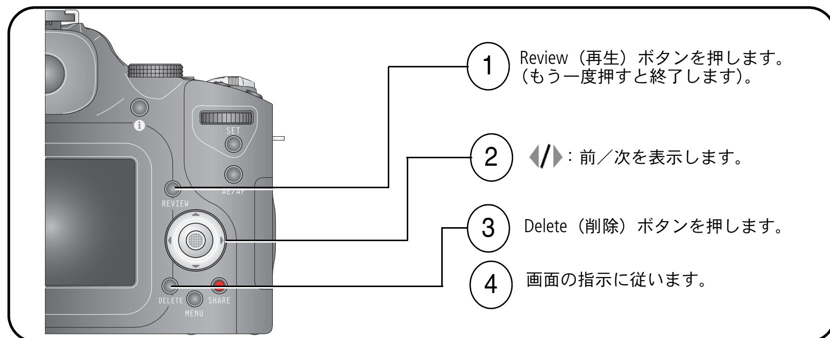
［すべて］—現在の保管場所のすべての画像と動画を保護します。

画像または動画が保護され、削除できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコンが表示されます。

注意：

内蔵メモリーまたは SD または MMC カードをフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が削除されます （内蔵メモリーをフォーマットすると、E メールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも削除されます。それらを復元する方法については、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください）。

画像と動画の削除



［この画像］または［この動画］— 表示されている画像または動画を削除します。

［終了］—［削除］画面を終了します。

［選択］— 現在の保管場所から選択された画像と動画を削除します。

［全て］— 現在の保管場所からすべての画像と動画を削除します。

注： 保護された画像や動画を削除するには、まず保護を解除する必要があります。

3 画像の転送およびプリント

ソフトウェアのインストール



注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーションを閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアをインストールします。

Windows — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］メニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「**d:¥setup.exe**」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Windows — アプリケーションを自動的にインストールする場合は、［標準］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

注： ユーザー登録画面が表示されたら、カメラとソフトウェアの登録を行ってください。登録処理では、お使いのシステムを最新の状態に保つための
情報を入力します。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

5 コンピュータを再起動するように要求されたら、コンピュータを再起動します。ウイルス対策ソフトウェアをオフにした場合はオンに戻します。詳しくは、ウイルス対策ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Kodak EasyShareソフトウェアCDに収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、Kodak EasyShareソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

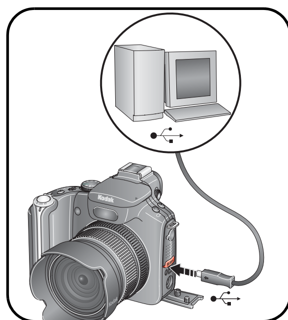
画像の転送

画像は、USBケーブルまたはEasyShareドックを使用して、コンピュータに転送できます。

詳しくは、Kodak製品取扱店またはwww.kodak.co.jpでご確認ください。

USBケーブルを使用した画像の転送

パッケージにEasyShareドックが同梱されていない場合は、カメラに付属のUSBケーブルを使用してください。



1 カメラの電源をオフにします。

2 USBケーブルの⭠という表示の付いた端をコンピュータのUSBポートに差し込みます。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

3 USBケーブルのもう一方の端をカメラのUSB端子に差し込みます。

4 カメラの電源をオンにします。

Kodak EasyShareソフトウェアがコンピュータ上で起動されます。ソフトウェアの指示に従って、転送プロセスを実行します。

注： 接続に関するオンラインチュートリアルについては、www.kodak.com/go/howtoを参照してください。

EasyShare ドックを使用した画像の転送

パッケージに EasyShare ドックが同梱されている場合は、EasyShare ドックを使用して画像を転送してください（詳しくは、ドックのユーザーガイドを参照してください。購入については www.kodak.co.jp でご確認ください。ドックの互換性については 24 ページを参照してください）。

Kodak EasyShare プリンタードックまたはコンピュータを使用したプリント

プリンタードック — Kodak EasyShare プリンタードックにカメラを装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。お使いのカメラとドックの互換性については、**24 ページ**を参照してください。詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

コンピュータ － Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

SD または MMC カードに保存されている画像のプリント

- SD または MMC カードスロット付きのプリンターにカードを挿入して、指定された画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

プリントのオンラインオーダー

Kodak オンラインフォトサービス（www.kodakgallery.com）は、Kodak EasyShare ソフトウェアで提供されているオンラインプリントサービスの 1 つです。次のような処理を簡単に行うことができます（Kodak オンラインフォトサービスの日本でのサービス開始時期は未定です）。

- 画像のアップロード
- 画像の編集、拡張、枠の追加
- 画像の保管、家族や友人との共有
- 画像のプリントオーダー

PictBridge 対応プリンターでのダイレクトプリント

このカメラは PictBridge テクノロジに対応しており、コンピュータを使用せずに PictBridge 対応プリンターでダイレクトプリントを行うことができます。ダイレクトプリントには次のものが必要です。

- フル充電済みのカメラ、または Kodak 5V AC アダプター（別売）に接続したカメラ
- PictBridge 対応プリンター
- USB ケーブル（モデル U-8）

プリンターへのカメラの接続

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 オプション：Kodak 5V AC アダプター（別売）を使用する場合は、カメラに接続してから電気コンセントに差し込みます。

3 カメラの USB ケーブルを使用して、カメラとプリンターを接続します（詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください）。

画像のプリント

注： プリントサイズは、お使いのプリンターによって異なります。

1 モードスイッチを **ON** または ♥ の位置にします。

注： モードスイッチを回してお気に入りの位置にしてある場合は、現在のお気に入り画像が表示されます。

2 プリンターの電源をオンにします。

PictBridge ロゴが表示された後、現在の画像とメニューが表示されます（画像が見つからない場合はそのことを知らせるメッセージが表示されます）。メニュー表示が消えた場合は、いずれかのボタンを押すと再び表示されます。

3 ▲/▼ を動かしてプリントオプションを選択し、OK ボタンを押します。

注： ダイレクトプリントでは、画像はコンピュータまたはプリンターに転送および保存されません。

現在の画像	◀/▶ を動かして画像を選択します。プリント数を選択します。
指定した画像	お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリント用に指定した画像をプリントします（69 ページを参照）。
インデックスプリント	すべての画像のサムネールをプリントします。インデックスプリントには用紙が複数枚必要になります。
全ての画像	内蔵メモリー、メモリーカード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。プリント数を選択します。
画像保管場所	内蔵メモリー、メモリーカード、またはお気に入りにアクセスします。

プリンターからのカメラの取り外し

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 カメラとプリンターから USB ケーブルを抜きます。

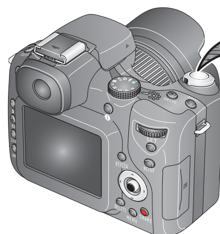
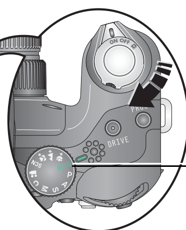
カメラとドックの互換性

Kodak EasyShare ドック	**ドック構成**
■ シリーズ 3 プリンタードックおよび カメラドック	専用 カメラインサート ドック
■ プリンタードック PD-22 ■ プリンタードックプラス ■ プリンタードック 6000 ■ カメラドック 6000	専用 カメラインサート Kodak ドック アダプターキット D-22 ドック
■ プリンタードック 4000 ■ カメラドック II ■ LS420、LS443 カメラドック	対応していません。

詳しくは、www.kodak.co.jp でご確認ください。

4 カメラのさまざまな利用方法

撮影モード

被写体と撮影条件に合うモードを
選択します。

通常の撮影には、オートモードを
使用します。

使用するモード	モードの説明
	モードスイッチ – 撮影、お気に入り
ON 撮影	画像と動画を撮影します。
お気に入り	お気に入りを表示します（71 ページを参照）。

使用するモード	モードの説明
	モードダイヤル － 11 種類
AUTO（オート）	通常の撮影に使用し、簡単な操作で優れた画質を実現できます。
ポートレート	**ポートレート（出荷時設定）** －人物の撮影に適しています。被写体がシャープになり、背景がぼやけます。 最高の画質を得るためには、被写体から 2 m 以上離れて、肩より上の部分を撮影します。望遠を使用するとさらに背景がぼやけます。 **夜景ポートレート** － 夜景または光の弱い状態での人物の撮影時に赤目を軽減します。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。 **手ぶれ防止夜景ポートレート** － 手ぶれを最小限に抑え、被写体と背景の両方を撮影します。
遠景	**遠景（出荷時設定）** － 遠距離の風景の撮影に適しています。 **夜景** － 遠距離の夜景の撮影に適しています。 これらの 2 つの設定では、フラッシュは発光しません。また、オートフォーカスフレーミングマーク（8 ページを参照）は使用できません。

使用するモード	モードの説明
フラワー	**フラワー（出荷時設定）** – 近い距離にある被写体をシャープに撮影します。ズームの位置に応じて撮影距離が自動的に設定されます。マクロ撮影可能距離（レンズからの距離）は、広角の場合は 10 ～ 50 cm、望遠の場合は 25 ～ 50 cm です。 **スーパーマクロ** – 非常に近い距離にある被写体をシャープに撮影します。 マクロ撮影可能距離（レンズからの距離）は、広角の場合は 5 ～ 35 cm です。 注：ズームの位置が望遠の場合、スーパーマクロは効果がありません。 フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。
SCN シーン	8 種類の特定の条件下で、手軽に状況に合わせて撮影を行うことができます（30 ページを参照）。
P プログラム	露出補正、フラッシュ補正（カメラに取り込む光の量の調整）、ISO 感度（45 ページを参照）を設定できます。シャッター速度と絞り（F 値）は、撮影条件に応じて自動的に設定されます。プログラムモードを使用すると、すべてのメニューオプションを利用したオート撮影を簡単に行うことができます。コマンドダイヤルと Set（セット）ボタンを使用して、設定を選択および調整できます（43 ページを参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。

使用するモード	モードの説明
A **絞り優先**	絞り、露出補正、フラッシュ補正、ISO 感度（45 ページを参照）を設定できます。絞り優先モードは主に、被写界深度（焦点の合う前後の範囲）を変更する場合に使用します。 注：光学ズームの使用時は、絞り設定に影響を及ぼす場合があります。コマンドダイヤルと Set（セット）ボタンを使用して、設定を選択および調整できます（43 ページを参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
S **シャッター優先**	シャッター速度、露出補正、フラッシュ補正、および ISO 感度（45 ページを参照）を設定できます。適切な露出に対する絞りが自動的に設定されます。シャッター優先モードは主に、動きのある被写体が撮影時にぶれるのを防ぐために使用します。シャッター速度が遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。コマンドダイヤルと Set（セット）ボタンを使用して、設定を選択および調整できます（43 ページを参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
M **マニュアル**	絞り、シャッター速度、フラッシュ補正、および ISO 感度（45 ページを参照）を設定できます。露出補正は、適切な露出を実現するために必要な絞りとシャッター速度の組み合わせを示す、露出メーターの役目を果たします。 シャッター速度が遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。コマンドダイヤルと Set（セット）ボタンを使用して、設定を選択および調整できます（43 ページを参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。

使用するモード	モードの説明
C **カスタム**	この「ユーザー設定」モードを使用すると、P、A、S、M の各モードに加えて、他のカメラ設定とは独立して保存されているカスタム設定やメニュー設定を保存できます。別のモードで設定を作成した場合は、［カスタムモードにコピー］を使用してそれらの設定を任意のカスタムモードに転送し保存することができます（59 ページの表を参照）。
動画	音声付きの動画を撮影できます（6 ページを参照）。

シーンモード

1 モードダイヤルを回してシーン SCN の位置にします。

2 ◀/▶ ▲/▼を動かして、シーンモードの説明を表示します。

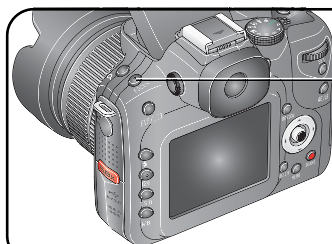
注： ヘルプテキストがオフになっている場合は、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを押して、シーンモードを選択します。

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明
	スポーツ	動きのある被写体に適しています。速いシャッター速度が使用されます。
	サンセット	夕暮れ時の深い色合いを再現します。
	逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状態）での撮影に適しています。
	キャンドルライト	ほのかな明かりでの撮影に適しています。
	書類	書類の撮影に適しています。
	マナー / 美術館	結婚式や講義など、静かな場所での使用に適しています。フラッシュとサウンドは使用できません。
	スノー	雪景色の撮影に適しています。
	ビーチ	砂浜での撮影に適しています。

Focus（フォーカス）ボタンの使用

近距離の被写体や遠景にフォーカスを合わせます。モードによっては使用できない設定もあります。



1 Focus（フォーカス）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。

2 ▲/▼を動かしてオプションを選択します。

3 OK または Set（セット）ボタンを押します。

現在有効なアイコンは、EVF ／液晶モニターに表示されます。

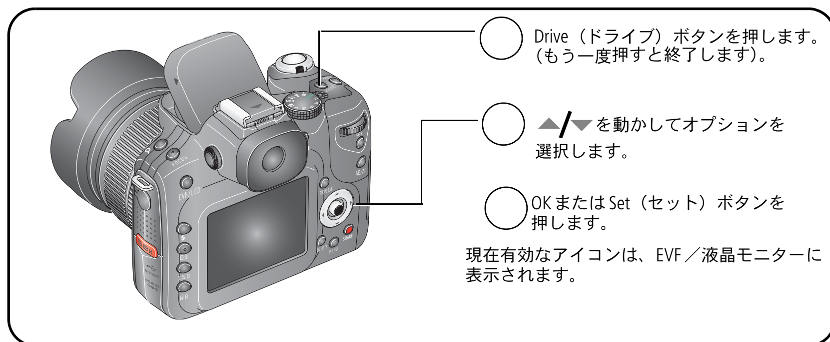
注： 高速設定変更については 47 ページを参照してください。

フォーカスモード	説明
標準 AF（出荷時設定）	一般的な撮影に適しています。広角／望遠で 50 cm から無限遠までに対応します。
マクロ AF	非常に近い距離にある被写体を詳細までシャープに撮影する場合に適しています。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。広角／望遠時のマクロ撮影可能距離は、25 ～ 50 cm です。広角でさらに近い距離の被写体を撮影する場合は、フラワーモードのスーパーマクロを使用します（25 ページを参照）。
無限遠	遠距離の撮影に適しています。フォーカス設定が［無限遠］の場合は、オートフォーカスフレーミングマークは使用できません。フラッシュは常に発光しません。

フォーカスモード		説明
MF	**マニュアル**	カメラの視野の中央にフォーカスを合わせます。マニュアルフォーカスリングを回すと、画面の拡大部分、フォーカス範囲を示すバー、およびフォーカスのシャープネスを示すゲージが表示されます。値がプラス方向に高いほど、焦点が合っていることを示します。広角／望遠時のマクロ撮影可能距離は、25 cm ～無限遠です。

ドライブモードを使用した、セルフタイマー、連写、測光ブラケティング設定

モードによっては使用できない設定もあります。



注： 高速設定変更については 47 ページを参照してください。連写枚数については35 ページを参照してください。

ドライブモード		説明
シングル		1 枚の画像を撮影します。
	セルフタイマー (10 秒)	10 秒経過する間に画面に入るように移動します。平らな場所または三脚の上にカメラを置きます。
	シャッター遅延 (2 秒)	2 秒経過すると撮影されます（安定した場所で三脚を使用してください）。
	ファースト連写 フラッシュは常に発光しません。(TIFF では使用できません)。	シャッターボタンが押されている間に 2.3 コマ／秒の速度で画像が撮影されます。保存される画像数については 35 ページを参照してください （対象のイベントを撮影します。人物がゴルフクラブをスイングするところなど)。
	ラスト連写 フラッシュは常に発光しません。(TIFF では使用できません)。	シャッターボタンが押されている間に 2.3 コマ／秒の速度で画像が撮影されます。保存される画像数については 35 ページを参照してください (正確なタイミングを捉えづらいイベントの場合に使用します。子供がバースデーケーキのロウソクを吹き消すところ)。
	測光 ブラケティング 3 フラッシュは常に発光しません。(TIFF では使用できません)。	3 枚の画像を、選択した 1/3、2/3、1.0 EV ステップのいずれかで撮影します。3 枚の画像を比較して最も適切な測光レベルを決定します。

ドライブモード		説明
	測光ブラケティング 5 フラッシュは常に発光しません。(TIFF では使用できません)。	5 枚の画像を、選択した 1/3、2/3、1.0 EV ステップのいずれかで撮影します。5 枚の画像を比較して最も適切な測光レベルを決定します。
	インターバル撮影 フラッシュは常に発光しません。(TIFF では使用できません)。	指定した枚数（2 ～ 99）の画像を指定した間隔（10 秒～ 24 時間）で撮影します。

1 ドライブモードを設定します（32 ページ）。

2 シャッターボタンを**半分押した状態**で AE/AF を設定します。

3 連写以外に設定した場合は、まずシャッターボタンを**完全に押し下げ、**次にボタンから指を離して撮影します。

連写に設定した場合は、シャッターボタンを**完全に押し下げたまま**にします。シャッターボタンを離すか、制限枚数の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。

注： セルフタイマーとシャッター遅延を開始した後で取り消すには、シャッターボタンをもう一度押します。

注： クイックビューの表示中は、連写した一連の画像すべてを削除できます。画像を選択して削除するには、再生モード（18 ページを参照）で削除します。

連写枚数

連写枚数は、画質サイズとファイルタイプによって決まります。ファイルタイプ（画像の圧縮）については、52 ページを参照してください。

注： TIFF フォーマットは、連写モードでは使用できません。

画像サイズ	解像度	圧縮／ファイルタイプ	枚数
8.0 MP	3264 × 2448	RAW	3
		ファイン	7
		スタンダード	12
		ベーシック	19
7.1 MP	3264 × 2176	ファイン	8
		スタンダード	13
		ベーシック	21
5.0 MP	2560 × 1920	ファイン	11
		スタンダード	19
		ベーシック	29
3.1 MP	2048 × 1536	ファイン	17
		スタンダード	29
		ベーシック	45
0.8 MP	1024 × 768	ファイン	40
		スタンダード	40
		ベーシック	40

AE/AF（自動露出／オートフォーカス）ロックボタンの使用

AE/AF ロックモードを設定する方法

1. Menu（メニュー）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。
2. ◀/▶ を動かして［設定］メニューを選択します。
3. ▲/▼ を動かして［AE/AF ロックの設定］を選択します。
4. OK ボタンを押します。
5. ▲/▼ を動かしてオプションを選択し、OK ボタンを押します。
6. AE/AF ロックボタンを押します。（もう一度押すとロックが解除されます）。

- 緑－適正
- 赤－不適正
- AEL AE ロックが不適正
- AFL フォーカスロックが不適正

注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

AE/AF ロックモード	説明
AEL **（出荷時設定）**	露出設定は、シャッターボタンが押されたかどうかには関係しません。この設定によって、クリエイティブな構図と露出を実現できます。設定は保持されるので、誤って変更されることはありません。

AE/AF ロックモード	**説明**
AFL	フォーカスロックを使用すると、AF が機能しない可能性のある被写体やシーンでも、露出を正確に設定できます。この設定によって、クリエイティブな構図とフォーカスを実現できます。例： コントラストの低いシーン：背景と同系色の服を着た人物が被写体の場合。 全体に模様のある被写体やシーン：ビルの窓、横縞の服を着た人物、檻の中の動物、森の中の人物など。 フレーミングマーク内の輝度が極端に異なるシーン：逆光でメインの被写体が陰になっている場合。
AEL / AFL	シャッターボタンが押されたかどうかにかかわらず、露出とフォーカスの両方を制御する場合に使用します。

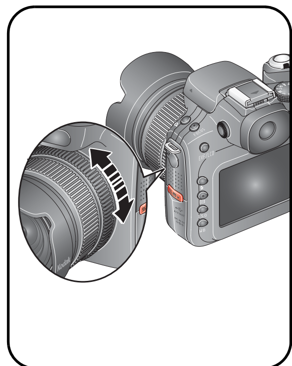
AF ロックを使用した撮影

AF が機能しない可能性のある特殊な状況の場合（36 ページ）：

1. AE/AF ロックボタンの設定を［AF］に設定します。
2. メインの被写体にフレーミングマークを設定します。
3. AE/AF ロックボタンを押します。
4. 構図を決め直してから、シャッターボタンを**半分押し下げて**、露出の位置をロックします。
5. シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

マニュアルフォーカス（MF）アシスト AF の使用

この機能を使用すると、より詳細なフォーカス調整を行うことができます。



1 Menu（メニュー）ボタンを押します。
（もう一度押すと終了します）。

2 ◀/▶ を動かして［設定］を選択します。

3 ▲/▼ を動かして［MF アシスト AF］を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かして［オン］を選択し、OK ボタンを押します。

この設定は、変更するまで有効です。

5 シャッターボタンを半分押した状態にします。

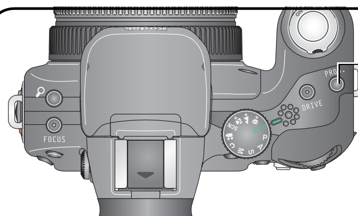
6 マニュアルフォーカスリングを回して、焦点を調整します （中央にフォーカスを合わせます）。

拡大画像が表示されます。

7 シャッターボタンを完全に押し下げて撮影します。

Program（プログラム）ボタンの使用

このボタンを押すだけで［撮影］および［再生］のサブメニューが表示されるようにプログラムすることができます。たとえば、カスタムホワイトバランス設定を頻繁に調整する場合は、このボタンを押すだけで［カスタムホワイトバランス］サブメニューが表示されるようにプログラムしておくと、メニューにアクセスしてサブメニューを探す必要がなくなります。モードによってはProgram（プログラム）ボタンが使用できない場合もあります。



ボタンのプログラム（初期設定）

1. 撮影モードまたは再生モードで、Program（プログラム）ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
2. ▲/▼ を動かして設定を選択し、OK ボタンを押します。
   選択されたアイコンが画面に表示されます。
3. Program（プログラム）ボタンを 3 秒間押すと、選択された設定にアクセスして変更することができます。

2 回目以降のボタンのプログラム

- Menu（メニュー）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。
- ◀/▶ を動かして［設定］を選択します。
- ▲/▼ を動かして［プログラムボタン（再生)］または［プログラムボタン（撮影)］を選択し、OK ボタンを押します。
- 4 ▲/▼ を動かしてオプションを選択し、OK ボタンを押します。

注：次に Program（プログラム）ボタンを押したときに、選択されたサブメニューが表示されます。サブメニューは、撮影モードと再生モードで同時に維持することができます。

注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

撮影設定のプログラム

プログラムを設定した後で、撮影モードで Program（プログラム）ボタンを押すと、指定したサブメニューに直接アクセスすることができます。

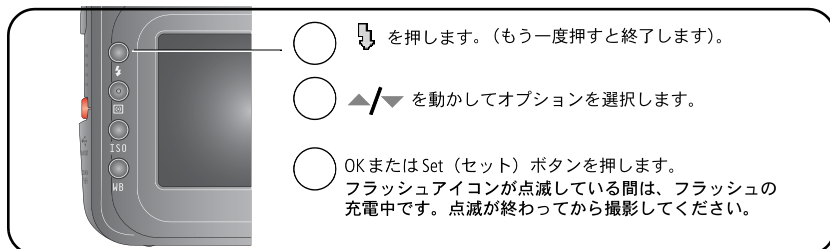
ショートカットメニュー選択	ショートカットメニュー選択
画像サイズ	オートフォーカス
ファイルタイプ	シャープネス
カラーモード	コントラスト
日付写し込み	スローフラッシュ設定
カスタムホワイトバランス	C モードにコピー
AF コントロール	カスタム露出モード

再生設定のプログラム

プログラムを設定した後で、再生モードで Program（プログラム）ボタンを押すと、指定したサブメニューに直接アクセスすることができます。

ショートカットメニュー選択	ショートカットメニュー選択
表示	コピー
アルバム	RAW ファイル現像
保護	動画日付表示
編集	インデックス
赤目補正	

フラッシュ設定の変更



注： フラッシュは撮影モードに応じてあらかじめ設定されています。フラッシュ設定によっては、使用できない撮影／SCN モードもあります。これらのモードの一部でオート発光または赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまで出荷時設定になります。

注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

フラッシュモード	フラッシュの発光
オート発光	フラッシュが必要な明るさの場合に自動的に発光します。
赤目軽減発光	被写体の目がフラッシュに慣れるように一度プレ発光し、撮影時にもう一度発光します。赤目軽減が不要な場合は、フラッシュが一度しか発光しないことがあります。赤目軽減発光オプションについては、54 ページの表を参照してください。
強制発光	明るさに関係なく、撮影するたびに必ず発光します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（光が被写体の後ろにある場合）に使用します。暗い場所では、カメラをしっかり構えるか、三脚を使用します。

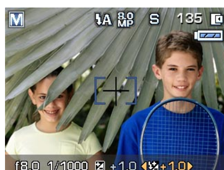
フラッシュモード	フラッシュの発光
スロー発光	シャッター速度にかかわらず、シャッターボタンが完全に押された直後に発光します。遅いシャッター速度での撮影時にのみ有効です。その他のスローシンクロ設定については、59 ページの表を参照してください。
オフ	発光しません。

PASM モードと C モード

PASM モードまたは C モードで変更された設定は、それらのモードのいずれかで撮影された画像にのみ適用されます。

たとえば、P、A、S、M モードでカラーモードをセピアに変更しても、オートおよび SCN モードではデフォルトのカラー設定が維持されます。

注： PASM モードと C モードのフラッシュ、測光、ISO、ホワイトバランスなどの設定は、モードを変更したりカメラの電源をオフにしても維持されます。PASM を出荷時設定にリセットするには、［カメラのリセット］を使用します（57 ページを参照）。



絞り
シャッター速度
露出補正
フラッシュ補正

絞り －（または F 値）被写界深度を決定するレンズ開口部のサイズを制御します。F2.8 などの小さい F 値は、レンズ開口部が大きいことを示します。F8 などの大きい F 値は、レンズ開口部が小さいことを示します。

F 値を大きくすると、被写体全体がシャープになります。風景や明るい場所での撮影に適しています。小さい F 値は、ポートレートや暗い場所での撮影に適しています。絞り値を最大または最小にして光学ズームを使用すると、何らかの影響を受ける場合があります。

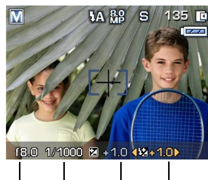
シャッター速度 － シャッターを開いたままにしておく時間を設定します。手ぶれを示すアイコン はシャッター速度が遅いことを警告するものです（シャッター速度が遅い場合は三脚を使用してください）。

露出補正 － 露出を手動で調整できます（± 2.0 EV、1/3 EV ステップ）。逆光での撮影や特殊なシーンの撮影に適しています。画像が明るすぎる場合は設定値を低く、暗すぎる場合は設定値を高くしてください。

フラッシュ補正 － フラッシュの明るさを設定します（± 1.0、1/3 ステップ）。フラッシュの範囲内で設定してください。フラッシュ設定がオフの場合は無効です。

PASM モードと C モードの設定の変更

PASM モードと C モードは、F 値（絞り）、シャッター速度、露出補正、フラッシュ補正を設定できます。



PASM、C モードオプション

白－選択可能
グレー－選択不可能
黄色－変更可能な値
赤－範囲外

1 モードダイヤルを回して P、A、S、M、または C の位置にします。

2 コマンドダイヤルと Set（セット）ボタンを使用します。

■ コマンドダイヤルを回して、選択可能な設定に選択矢印を動かします。

注：PASM モードと C モードでの高度な撮影については、59 ページの メニューを参照してください。

■ Set（セット）ボタンを押して設定を開きます。

■ コマンドダイヤルを回して設定を調整してから、Set（セット）ボタンを押して閉じます。

3 Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します（50 ページを参照）。

4 画像を撮影します。

WB（ホワイトバランス）ボタンの使用

ライティング条件を選択します。

EVF/LCD
ISO
WB

1 WB（ホワイトバランス）ボタンを押します。
（もう一度押すと終了します）。

2 ▲/▼を動かしてオプションを選択します。

3 OK または Set（セット）ボタンを押します。

現在有効なアイコンは、EVF ／液晶モニターに表示されます。

注： このボタンは、PASM モード、C モードで使用できます。

注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

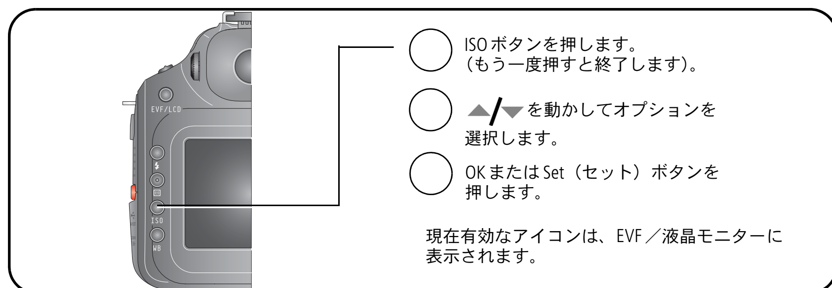
ホワイトバランス（WB）オプション

WB オプション	説明
オート（出荷時設定）	ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。
昼光	自然光の画像を撮影します。
曇り	曇り、日陰、または薄暗い場所での撮影に使用します。
晴天日陰	自然光を利用した日陰での撮影に使用します。
サンセット	夕暮れ時の深い色合いを再現します。
白熱灯	屋内の電球のオレンジ色の光を補正します。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。

WB オプション	説明
蛍光灯	蛍光灯の緑色の光を補正します。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。
クリック WB	白いものにカメラを向けて撮影し、より最適にします。画面の指示に従って設定を行います。
カスタム WB1 WB2 WB3	カスタムホワイトバランスとして登録してある保存済みホワイトバランス設定を使用します（59 ページの表を参照)。

ISO 感度の設定

ISO 感度は、カメラセンサーの感度を制御します。設定が高いほど光に対する感度も高くなりますが、画像に「ノイズ」が発生する場合があります。オートモードと SCN（シーン）モード設定を使用すると、カメラセンサーの感度がライティング条件に合わせて自動的に調整されます。PASM モードと C モードでは、ISO ボタンを使用して設定を調整できます。



注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

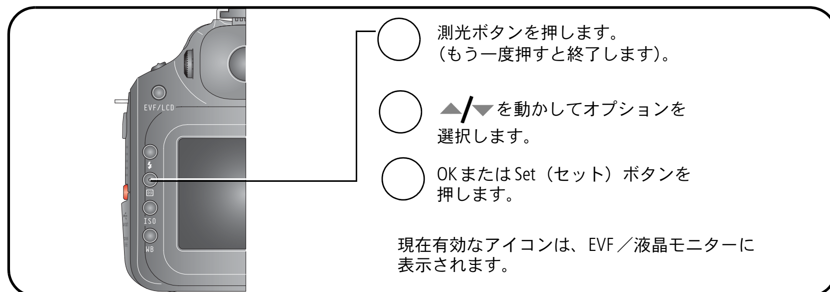
ISO 感度の設定と画像サイズの対応表：

ISO	画像サイズ（MP）
ISO 50 ～ 200	3.1 MP、5.0 MP、7.1 MP、8.0 MP
ISO 400 ～ 1600	0.8 MP のみ

注： 画像サイズを選択するには、51 ページを参照してください。

測光モードの使用

PASM モードまたは C モードで、撮影条件に応じて測光システムを選択します。



注： 高速設定変更については47 ページを参照してください。

アイコン	測光モードオプション
（なし）	**マルチ測光（出荷時設定）—** 画像全体の光の条件を測定し、画像に最適な露出に設定します。一般的な撮影に適しています。
	中央重点測光 — 画面の中央に重点を置くと同時に、画像の広範囲の光の条件を測定します。
	スポット測光 — 中央重点測光に似ていますが、ビューファインダーの中央に配置された被写体の小さな領域を中心として測定される点が異なります 画像内の特定の領域の露出を正確に設定する必要がある場合に適しています。スポット測光の画像が画面に表示されます。

アイコン	測光モードオプション
	選択 — 25 箇所の選択可能な画像の位置の 1 つに基づいて測光システムを作成します。セレクタブル AF（59 ページの表を参照）を使用すると、設定は一緒に記録されます。◀/▶ ▲/▼を使用して希望の位置に照準を動かします。

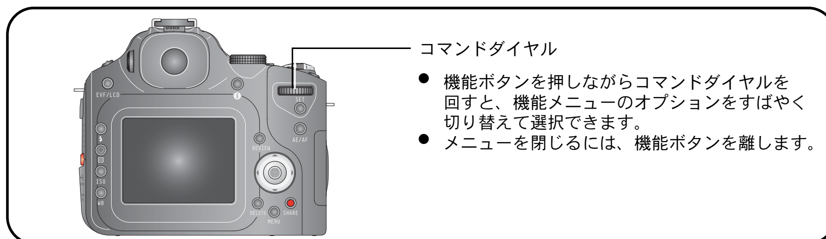
測光ブラケティングでの露出補正の使用

PAS モードでは、露出補正と測光ブラケティングを組み合わせて使用できます。

露出補正の設定値	測光ブラケティング間隔を 3 段階に設定した場合	使用される露出
0.0	間隔は 0.3 に設定されます。	-0.3、0.0、+0.3
+1.0		+0.7、+1.0、+1.3
–1.0		–1.3、–1.0、–0.7

コマンドダイヤルを使用した高速設定変更

コマンドダイヤルとボタンを組み合わせて使用すると、設定をすばやく変更できます。



- 機能ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、機能メニューのオプションをすばやく切り替えて選択できます。
- メニューを閉じるには、機能ボタンを離します。

注： コマンドダイヤルを使用して、PASM モードで設定を調整することもできます。43 ページを参照してください。

高速設定変更に使用可能な機能ボタン：			
•	フラッシュボタン（41 ページ）	•	測光ボタン（46 ページ）
•	Focus（フォーカス）ボタン（31 ページ）	•	Program（プログラム）ボタン（39 ページ）
•	Drive（ドライブ）ボタン（32 ページ）	•	WB（ホワイトバランス）ボタン（44 ページ）
•	ISO ボタン（45 ページ）	•	デジタルズームボタン（10 ページ）

ハイライト／シャドウクリッピングの使用

クイックビューまたは再生モードでは、画像のクリッピングされた領域を表示して、露出過多および露出不足を示すハイライトとシャドウの詳細を確認することができます。シーンに反射部分が大きい場合は通常、ハイライトクリッピングやシャドウクリッピングが発生します。シーンの大部分がクリッピングされる場合は、PASM モードで絞りやシャッター速度を変更して露出を調整します。

ハイライト／シャドウクリッピングの表示／非表示を切り替えるには情報ボタンを押します。





シャドウは青で表示

ハイライトは黄色で表示

ヒストグラムの使用

クイックビューまたは再生モードでは、ヒストグラムは被写体の明るさ分布を示します。ピークがグラフの右端にある場合は被写体が明るすぎることを示します。逆に左端にある場合は被写体が暗すぎることを示します（グレースケールバーを参照）。ヒストグラムの中央部分にピークがある場合は通常、露出が最適になります。

ヒストグラムの表示／非表示を切り替えるには情報ボタンを押します。





撮影設定の変更

撮影するときの設定を変更することができます。

1 Menu（メニュー）ボタンを押します（終了するにはもう一度押します）。

2 ◀/▶ を動かしてメニュータブを選択します。

- **撮影**：一般的な設定で静止画像を撮影する場合。
- **動画**：動画を撮影する場合。
- **設定**：カメラ設定をカスタマイズする場合。
- **撮影+** ：高度な撮影を行う場合。
（PASM および C 設定でのみ使用可能）。

3 ▲/▼を動かして変更する設定を選択し、OK ボタンを押します。

4 設定値を選択して OK ボタンを押します。

静止画メニューオプション



撮影

オートモードとSCN（シーン）モードなどでは使用できない設定もあります。

設定	アイコン	設定値／内容
画像サイズ 画像の解像度を選択します。 **この設定は、変更するまで有効です。**		**8.0 MP（出荷時設定）—** 76 × 102 cm までのプリントに適しています。最高の解像度が適用され、ファイルサイズは最も大きくなります。 **7.1 MP（3:2）—** トリミングなしの 10 × 15 cm のプリントに適しています。76 × 102 cm までのプリントにも適しています。 **5.0 MP —** 28 × 36 cm までのプリントに適しています。中程度の解像度が適用され、ファイルサイズは小さくなります。 **3.1 MP —** 20 × 25 cm までのプリントに適していますが、中程度の解像度が適用され、ファイルサイズが小さくなります。 **0.8 MP —** 10 × 15 cmのプリントに適しています。E メール、インターネット、画面での表示、および保管場所を節約することができます。

設定	アイコン	設定値／内容
ファイルタイプ RAW または TIFF 以外の圧縮データは、保管場所（メモリー）の容量や転送時間を節約できます。 **この設定は、変更するまで有効です。**		**ベーシック —** JPEG。高圧縮率。低画質 **スタンダード（出荷時設定）—** JPEG。標準圧縮率 **ファイン —** JPEG。低圧縮率。高画質 **TIFF —** 画像データの詳細を保存するために使用される非圧縮形式。スキャナの取り込みや画像関連のアプリケーションを使用するのに最適です。 **RAW —** ホワイトバランス、シャープネス、コントラストなどが適用されていない、オリジナルの RAW データ。通常使用可能なファイルを作成する方法については、62 ページを参照してください。
カラーモード 色調を選択します。 **この設定は、モードダイヤルを回すか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**ヴィヴィッドカラー** **ナチュラルカラー（出荷時設定）** **シックカラー** **白黒** **セピア** **注：** EasyShare ソフトウェアを使用すると、カラーの画像を白黒やセピアに変更することができます。ただし、白黒またはセピアの画像をカラーに変更することはできません（RAW ファイルを使用すれば変更できます）。
日付写し込み 画像に日付を表示します。		日付写し込みのオン／オフや日付の表示形式を選択します （出荷時設定は［オフ］です）。

動画メニューオプション

 **動画**

設定	**アイコン**	**設定値／内容**
動画サイズ 動画の解像度を選択します。 **この設定は、変更するまで有効です。**		**640 × 480 —** 解像度が高くなり、ファイルサイズが大きくなります。動画は 640 × 480 画素の大きさ（VGA）で表示されます。 **320 × 240 —** 解像度が低くなり、ファイルサイズが小さくなります。動画は 320 × 240 画素の大きさ（QVGA）で表示されます。
動画撮影時間 動画の撮影時間を選択します。 **この設定は、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**連続（出荷時設定）—** カードまたは内蔵メモリーに容量がある間、あるいはシャッターボタンを押すまで撮影されます。 **5**、**15**、または **30** 秒。
AF コントロール オートフォーカス設定を選択します。 **この設定は、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**コンティニュアス AF（出荷時設定）—** カメラの焦点は常に合っているので、シャッターボタンを半分押し下げて焦点を合わせる必要はありません。 **シングル AF —** シャッターボタンを半分押したときにのみ焦点を合わせます。

設定メニューオプション

 **設定**

設定メニューのすべての設定は、変更するまで有効です。

設定	アイコン	設定値／内容
LCD 輝度 液晶モニターの明るさを調整します。		**1**、**2**、**3（出荷時設定）**、**4**、または **5**
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、お気に入りモードでは使用できません。**		**オート（出荷時設定）—** カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー** **—** カードが装着されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。
アルバム設定（静止画、動画） アルバムの名前を選択します。		画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。66 ページを参照してください。
AF 補助光 LED 光線が短時間放射され、被写体を明るく照らします。光の弱い場所でもきちんと焦点を合わせることができます。		**オン（出荷時設定）** **オフ**

設定	アイコン	設定値／内容
MF アシスト AF マニュアルフォーカスリングを使用して、オートフォーカス（AF）をさらに調整します。38 ページを参照してください。		**オン** **オフ（出荷時設定）**
赤目軽減 画像の赤目は自動的に補正されます。赤目軽減機能はフラッシュモード設定でも使用できます。41 ページを参照してください。		**プレ発光のみ（出荷時設定）** **プレ発光＆オート強制** **オート強制のみ**
AE/AF ロックボタンの設定 ボタンの動作を選択します。		**AE ロック（出荷時設定）** **AF ロック** **AE/AF ロック** 36 ページを参照してください。
プログラムボタンの設定（撮影） 撮影モードで、よく使用するカメラ設定へのショートカットを設定できます。		39 ページを参照してください。
プログラムボタンの設定（再生） 再生モードで、よく使用する再生設定へのショートカットを設定できます。		39 ページを参照してください。

設定	**アイコン**	**設定値／内容**
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。静止画の撮影時のみ有効です。		**オン（出荷時設定）** **オフ**
クイックビュー クイックビューの設定オンまたはオフに変更します。詳しくは7 ページを参照してください。		**オン（出荷時設定）** **オフ**
カメラ操作音 全体のサウンドテーマや個々のサウンドを選択します。		**テーマ（出荷時設定）**全体に適用されます。 **シャッター** **セルフタイマー** **エラー**
音量 すべてのサウンドをオフにするか、音量レベルを選択します。		**オフ** **低** **中（出荷時設定）** **高**
モードテキスト モードの説明を表示します。(SCN モードの説明は常に表示されます)。		**オン（出荷時設定）** **オフ**

設定	アイコン	設定値／内容
アクセサリーレンズ アクセサリーレンズを使用する場合は、焦点が合っているか確認してください。		**オン** **オフ（出荷時設定）**
日付／時刻 日付と時刻を設定します。		4 ページを参照してください。
ビデオ出力 カメラをテレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（出荷時設定）—** 北米と日本で使用される最も一般的な形式です。 **PAL —** ヨーロッパと中国で使用されます。
外部フラッシュ 外部フラッシュ設定を選択します。		**外部フラッシュのみ** **内部＆外部 フラッシュ（出荷時設定）**
EVF/LCD スタンバイ EVF／液晶モニターの表示時間を選択します。		**15** または **30** 秒 **1 分（出荷時設定）** **2 分**
自動電源オフ カメラの電源がオフになる時間を選択します。		**3** 分（出荷時設定） **5、10、15、** または **30 分**
言語 使用する言語を選択します。		4 ページを参照してください。
カメラのリセット 撮影の全設定をカメラの出荷時設定に戻します。		オート、SCN（シーン）、および PASM の各モードの設定が出荷時設定にリセットされます。C モードの設定はそのまま維持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
フォーマット **注意：** **フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が削除されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。**		**メモリーカード —** カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **やめる —** 変更せずに終了します。 **内蔵メモリー —** E メールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。
カメラ情報 カメラの情報を表示します。		カメラの名前とファームウェアバージョンを表示します。

PASM メニューオプションと C メニューオプション

撮影+

これらの設定は、オートモード、SCN（シーン）モード、動画モードなどでは使用できません。

設定	アイコン	設定値／内容
カスタムホワイトバランス		**補正 —** 色をカスタム調整します。 **登録 —** ホワイトバランス設定を、カスタムホワイトバランス設定 WB1、WB2、WB3 として保存します。
AF コントロール オートフォーカス設定を選択します。 **この設定は、PASM モードと C モードでは変更するまで有効です。**		**コンティニュアス AF（出荷時設定）—** カメラは、常に焦点を合わせて画像を表示します。このオプションを使用すると、電池が最も早く消耗します。 **シングル AF —** カメラは、シャッターボタンが半分押し下げられたときにのみ焦点を合わせます。このオプションを使用しても、電池をそれほど消耗しません。
オート**フォーカス** 大きな領域または密集した領域に焦点を合わせます。 **この設定は、PASM モードと C モードでは変更するまで有効です。**		**マルチ AF（出荷時設定）—** 9 つのゾーンを測定して中間的な焦点を設定します。一般的な撮影に適しています。 **センター AF —** 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。画像内の特定の領域に正確に焦点を合わせる必要がある場合に適しています。 **セレクタブル AF —** ◀/▶ ▲/▼を使用して、フォーカスブラケットを 25 箇所のフォーカスゾーン（垂直位置：5、水平位置：5）のいずれかに動かします。

設定	アイコン	設定値／内容
シャープネス **この設定は、PASMモードとCモードでは変更するまで有効です。**		**シャープ** **標準（出荷時設定）** **ソフト**
コントラスト **この設定は、PASMモードとCモードでは変更するまで有効です。**		**高** **標準（出荷時設定）** **低**
スローシンクロ設定 スローシンクロ設定オプションを選択します。［先幕シンクロ］（出荷時設定）設定は、フラッシュボタンメニュー 41 ページからもアクセスできます。 **この設定は、PASMモードとCモードでは変更するまで有効です。**		**先幕シンクロ（出荷時設定）** — シャッターが開いたときに同期します。夜景をバックにした速いシャッター速度での撮影時に、背景をさらに暗くしたい場合に最適です。この機能は、遅いシャッター速度で背景をぼかし、フラッシュで被写体を明るく撮影することができます。 **先幕シンクロ赤目軽減** — 先幕シンクロと赤目軽減機能の両方を同時に設定します。明るい夜景をバックにした人物の撮影に最適です。背景を正確に撮影するとともに、赤目を軽減できます。 **後幕シンクロ** — シャッターが閉じるときに同期します。シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光するため、背景に光の軌跡が生じ、被写体の動きを自然に捉えることができます。 平らな場所または三脚の上にカメラを置きます。

設定	アイコン	設定値／内容
Cモード設定 現在のカメラ設定をカスタムモードにコピーします。		3つのカスタムモードの中の1つのモードで設定を保存します。 カスタム設定として保存できるのは、PASMの設定のみです。
カスタム露出モード 任意の撮影露出モードを選択します （カスタムモード（29 ページ）を参照） **この設定は、変更するまで有効です。**		**プログラム（出荷時設定）** **絞り優先** **シャッター**優先 **マニュアル** カスタム（C）モードでのみ使用可能です。

静止画と動画の編集機能

1 Review（再生）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。

2 ◀/▶ を動かして画像または動画を選択します。

3 Menu（メニュー）ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かして［編集］を選択します。

5 OK ボタンを押します。以下のオプションから選択します。

静止画 

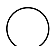
- トリミング
- サイズ変更

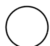
動画 

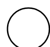
- 静止画の作成
- トリミング
- 切り取り
- 分割
- マージ

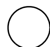
通常に使用可能なRAWファイルのコピーの作成

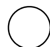
この機能を使用すると、通常に使用可能なRAWファイルのコピーを作成し、調整することができます。
元のファイルは変更されません。


Review（再生）ボタンを押します。（もう一度押すと終了します）。


◀/▶ を動かして画像を選択します。


Menu（メニュー）ボタンを押します。

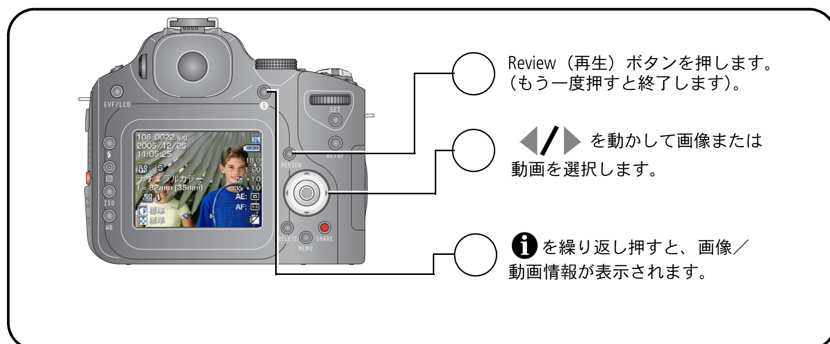

▲/▼ を動かして［RAWファイル］を選択し、OKボタンを押します。


画面の指示に従います。

注： これらのオプションは、50ページのメニューオプションとは異なります。

RAW現像オプション			
	ファイルタイプ		コントラスト
	露出補正		ホワイトバランス
	カラーモード		ホワイトバランス補正
	シャープネス		画像サイズ

画像情報／動画情報の表示



オプションの再生メニューの使用

再生モードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、再生機能が表示されます。

• 表示	• スライドショー
• アルバム	• コピー
• 画像の保護	• RAW 現像
• 編集	• 動画の日付表示
• 赤目軽減	• インデックス

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、**コピー元**の場所に設定されていることを確認します。画像保管場所（54 ページ）を参照してください。

画像または動画をコピーする方法

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼を動かして［コピー］を選択し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼を動かしてオプションを選択します。

［この画像］または［この動画］— 現在の画像または動画をコピーします。

［終了］— Review（再生）メニューに戻ります。

［選択］— 選択された画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

［すべて］— すべての画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

4 OK ボタンを押します。

注： 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像と動画を元の場所から削除するには、それらを削除します（18 ページを参照）。

プリント、E メール、またはお気に入り用に設定した指定や、保護の設定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、17 ページを参照してください。

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、複数の画像や動画を液晶モニターに次から次へと表示することができます。テレビまたは他の外部装置でスライドショーを実行する方法については、66 ページを参照してください。電池を節約するために、別売の Kodak 5V AC アダプターを使用してください（www.kodak.co.jp を参照）。

スライドショーの開始

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ▲/▼を動かして［スライドショー］を選択し、OK ボタンを押します。
3 ▲/▼を動かして［開始］オプションを選択し、OK ボタンを押します。

各画像と動画は、1 回ずつ表示されます。

スライドショーを中止するには OK ボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔の出荷時設定は 5 秒間です。表示間隔を 3 ～ 60 秒に設定することができます。

1 ［スライドショー］メニューで▲/▼を動かして［間隔］を選択し、OK ボタンを押します。
2 表示間隔を選択します。

秒数をすばやく変更するには▲/▼を押したままにします。

3 OK ボタンを押します。

間隔の設定は、変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューで▲/▼を動かして［繰り返し］を選択し、OK ボタンを押します。

2 ▲/▼を動かして［オン］を選択し、OK ボタンを押します。

［繰り返し］を選択すると、スライドショーは、OK ボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返し再生されます。［繰り返し］機能は、設定を変更するまで有効です。

画像と動画のテレビでの表示

オーディオ／ビデオケーブルを使用して、テレビ、コンピュータのモニター、またはビデオ入力のある任意の機器に画像と動画を表示することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

注： ［ビデオ出力］の設定（NTSC または PAL）が正しいことを確認します（57 ページを参照）。スライドショーの実行中にケーブルを抜き差しすると、スライドショーが停止します。

1 A/V ケーブルを、カメラの A/V 出力／USB 端子からテレビのビデオ入力端子（黄色）とオーディオ入力端子（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

2 画像や動画、スライドショーをテレビで再生できます。

アルバム名の事前設定

［アルバム設定］機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

1. コンピュータでの操作

このカメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します 次にカメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名をアルバム名のリストにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ◀/▶ を動かして［設定］を選択します。

3 ▲/▼ を動かして［アルバム設定］を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かしてアルバム名を選択し、OK ボタンを押します。手順を繰り返して、画像または動画のアルバムを指定します。

選択したアルバムにはカラーボックスが表示されます。

5 アルバムの選択を解除するには､アルバム名を選択して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

6 ［終了］を選択して OK ボタンを押します。

7 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

選択は保存されます。アルバムの選択状況は画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像が開かれ､適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像または動画のアルバムの指定

再生モードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定（タグ付け）することができます。

1. コンピュータでの操作

カメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成し、最大 32 個のアルバム名をカメラの内蔵メモリーにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 Review（再生）ボタンを押し、画像または動画を選択します。
2 Menu（メニュー）ボタンを押します。
3 ▲/▼ を動かして［アルバム］ を選択し、OK ボタンを押します。
4 ▲/▼ を動かして［画像］、［動画］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。
5 ▲/▼ を動かしてアルバムフォルダを選択し、OK ボタンを押します。

1 つの画像または動画を指定した場合は、ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像を変更し、他の画像を同じアルバムに追加することができます。追加する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

複数のアルバムに画像を追加するには、各アルバムについて手順 5 を繰り返します。

画像の横にアルバム名が表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムに画像が追加されていることを示します。

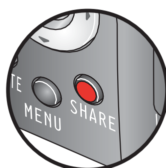
アルバムの選択を解除するには、アルバム名を選択して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］、［終了］を選択し、OK ボタンを押します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像の共有

コンピュータに転送した画像や動画を共有するには、次のオプションを使用します。



- プリント指定（69 ページ）
- E メール指定（70 ページ）
- お気に入り指定（71 ページ）

画像や動画を指定できるタイミング

次のタイミングで、Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画を指定します。

- 常時 （最後に撮影した画像または動画が表示されます）。
- 画像や動画の撮影直後のクイックビュー時（7 ページを参照）。
- Review（再生）ボタンを押した後（13 ページを参照）。

プリントする画像の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を動かして画像を選択します。

2 ▲/▼ を動かして［プリント指定］ を選択し、OK ボタンを押します。*

3 ▲/▼ を動かして［画像］、［動画］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かしてプリント数（0 ～ 99）を選択します。0 を選択すると、その画像の指定は削除されます。

画面にアイコンが表示されます。出荷時設定は 1 枚です。

5 ◀/▶ を動かして画像を選択します。プリント数をそのままにするか、▲/▼ を動かして変更します。必要なプリント数が画像に適用されるまでこの手順を繰り返します。

6 OK ボタンを押します。Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

* 保管場所内のすべての画像からプリント指定を削除するには、［プリント指定取消］を選択して、OK ボタンを押します。［全て取り消し］はクイックビューでは使用できません。

指定された画像のプリント

指定された画像をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ、プリンタードック、PictBridge 対応プリンター、カードからのプリントについては、22 ページを参照してください。

注： 10 × 15 cm のプリントで最高の画質を得るためには、カメラを [7.1 MP (3:2)] に設定します。

E メールで送信する画像と動画の指定

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上で E メール用のアドレス帳を作成します。最大 32 個の E メールアドレスをカメラの内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

2. カメラでの画像や動画の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を動かして画像や動画を選択します。

2 ▲/▼ を動かして［E メール］を選択し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を動かして［画像］、［動画］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かして E メールアドレスを選択し、OK ボタンを押します。OK ボタンをもう一度押すと選択が解除されます。

1つの画像または動画を指定した場合は、同じアドレスを持つ他の画像／動画を指定し、を押します。◀/▶を動かして変更します。該当する画像が表示されたらOKボタンを押します。

画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順4を繰り返します。

選択したアドレスの横には、終了時にカラーボックスが表示されます。

5 選択を解除するには､チェックマークの付いたアドレスを選択してOKボタンを押します。すべてのEメールアドレスの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

6 ▲/▼を動かして［終了］を選択し、OKボタンを押します。

7 Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送およびEメール

指定された画像や動画をコンピュータに転送すると、Eメール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、Kodak EasyShareソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの画像の指定

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入り セクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。

注： カメラからコンピュータに画像を転送する場合､お気に入りを含むすべての画像はフルサイズでコンピュータに保存されます｡元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像は、カメラの設定に応じてカメラに読み込まれ、画像を共有して楽しむことができます。

お気に入りの画像は次の4つの手順で簡単に共有できます。

1. 画像を撮影します。	
2. お気に入りとして画像を指定します。 MENU SHARE	**1** Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を動かして画像を選択します。 **2** ▲/▼ を動かして［お気に入り］を選択し、OK ボタンを押します。 **3** ▲/▼ を動かして［画像］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。 **画面にアイコンが表示されます。指定を削除するには、手順2を繰り返します。**Share（シェア／共有）ボタンをもう一度押すと終了します。
3. コンピュータに画像を転送します。	**1** すべての機能を利用するには、このカメラに付属の EasyShare ソフトウェアをインストールして使用してください（19 ページを参照）。 **2** USB ケーブル（20 ページを参照）または EasyShare ドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアが起動され、お気に入りの画像を選択することができます。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像は、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**
4. カメラでお気に入りを表示します。 ON OFF	**1** モードスイッチを回してお気に入りの位置にします。 **2** ◀/▶ を動かしてお気に入りを選択します。 お気に入りモードを終了するには、モードダイヤルを回して他の位置にします。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入りセクションのサイズをカスタマイズします。お気に入りとして指定された動画は、EasyShare ソフトウェアの［お気に入り］フォルダに残り、カメラには転送されません。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの再生設定の変更

お気に入りモードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、オプション設定が表示されます。

	表示（14 ページ）		すべてのお気に入りを消去（73 ページ）
	スライドショー（65 ページ）		インデックス（14 ページ）

注： 7.1 MP（3:2）で撮影された画像は、3:2 の比率で表示され、画面の上部が黒く表示されます。

カメラからのすべてのお気に入りの消去

撮影用の内蔵メモリーを増やすには、カメラからお気に入りを消去してください。

1 モードスイッチを回してお気に入り の位置にします。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 を選択して OK ボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときに復元されます。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 Kodak EasyShare ソフトウェアを起動します。［マイコレクション］タブをクリックします。

2 アルバムビューに進みます。

3 カメラの［カメラのお気に入りアルバム］をクリックします。

4 ［アルバムの消去］をクリックします（元の画像は変更されません）。

次回画像をカメラからコンピュータに転送するときは、カメラのお気に入りウィザード／アシスタントを使用して、カメラのお気に入りアルバムを再作成するか、カメラのお気に入り機能をオフにします。

お気に入りのプリント

1 モードスイッチを回してお気に入り の位置にします。◀/▶ を動かして画像を選択します。

2 Share（シェア／共有）ボタンを押します。

3 ［プリント指定］ を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かして［画像］、［動画］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。

5 ▲/▼ を動かして［プリント数］を選択し、OK ボタンを押します。

画面にアイコンが表示されます。

注： このカメラで撮影したお気に入りは、10 × 15 cm までのプリントに適しています（本カメラ以外から取り込んだものは除く）。

お気に入りの E メールでの送信

1 モードスイッチを回してお気に入り の位置にします。◀/▶ を動かして画像を選択します。

2 Share（シェア／共有）ボタンを押します。

3 ［E メール指定］ を選択し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を動かして［画像］、［動画］、［選択］、または［全て］を選択し、OK ボタンを押します。

5 ▲/▼を動かして複数のアドレスを選択し、OK ボタンを押します。

選択したアドレスの横にカラーボックスが表示され、ステータス領域に E メールアイコンが表示されます。

注： このカメラで撮影したお気に入りは、10 × 15 ㎝までのプリントに適しています（本カメラ以外から取り込んだものは除く）。

5 トラブルシューティング（こんなときは？）

カメラに関して

詳細な製品サポートについては、www.kodak.com/go/p880support にアクセスして、［Getting Service & Repairs］を選択してください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
カメラの電源がオンにならない カメラの電源がオフにならない カメラのボタンとコントローラが機能しない	■ 電池を取り外して、電池の種類が正しいことを確認し、再度装着してください。 ■ 充電済み電池を装着してください。 ■ カメラを Kodak 5V AC アダプター（別売）に接続して、もう一度やり直してみてください。電池について詳しくは 2 ページを参照してください。
EVF ／液晶モニターが真っ暗になっているかオンにならない	■ レンズキャップを取り外してください。 ■ EVF ／ LCD 切り替えボタンを押して、画面を切り替えてください。 ■ 任意のボタンを押して、EVF ／ LCD 画面のスリープ状態を解除してください。 ■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。
再生モードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される	■ **すべての**画像をコンピュータに転送してください（20 ページを参照）。 ■ もう一度画像を撮影してください。問題が解決しない場合は、内蔵メモリーまたは別のメモリーカードを使用してみてください。すべての画像をダウンロードしてから、カードをフォーマットしてください。その後、そのカードをもう一度カメラで使用してみてください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像を撮影しても残り枚数が減らない	■ そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています （カメラでは、各画像の撮影後に、画像サイズと内容に基づいた残りの撮影可能枚数が概算されます）。
画像の向きが正しくない	■ 縦横補正をオンにしてください（56 ページ）。
外部フラッシュが発光しない	■ フラッシュユニットを開けてください（11 ページ）。 ■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（41 ページ）。
フラッシュが発光しない	■ フラッシュユニットの電源をオンにしてください。 ■ 充電済み電池を装着してください。
画像保管場所がほとんどまたは完全にいっぱいである	■ 画像をコンピュータに転送してください（20 ページ）。 ■ カードから画像を削除するか、新しいカードを装着してください（18 ページ）。 ■ 画像保管場所を内蔵メモリーに変更してください（54 ページの表を参照）。
画像を撮影できない	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（6 ページ）。 ■ 充電済み電池を装着してください（3 ページ）。 ■ メモリーがいっぱいです。画像をコンピュータに転送する（20 ページ）、カメラまたはカードから画像を削除する（18 ページ）、画像保管場所を変更する、新しいカードを挿入するのいずれかを実行してください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
EVF／液晶モニターにエラーメッセージが表示される	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ 画面に表示される指示に従ってください。エラー番号が表示された場合はその番号を書き留めた後、カメラの電源をいったんオフにしてから再びオンにしてください。 ■ メモリーカードをカメラから取り出すか、画像をダウンロードしてからカードをフォーマットしてください。その後、そのカードをもう一度カメラで使用してみてください。 ■ 電池を取り外し、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください（96 ページ）。もう一度電池を装着してください。 ■ その他の故障については、カスタマーサポートに問い合わせてください（84 ページを参照）。
メモリーカードが認識されない、またはメモリーカードを挿入するとカメラがまったく動作しなくなる	■ カードが壊れている可能性があります。カメラに挿入されているカードをフォーマットしてください（5 ページを参照）。フォーマットするとデータは消去されます。 ■ 別のメモリーカードを使用してください。

コンピュータ／接続に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
コンピュータがカメラと通信しない	■ 充電済み電池を装着してください（3 ページ）。 ■ カメラの電源をオンにします。 ■ 適切な USB ケーブルがカメラとコンピュータポートにしっかりと接続されていることを確認してください（20 ページ）。（EasyShare ドックを使用している場合は、すべてのケーブル接続を確認してください。カメラがドックにしっかりとセットされていることを確認してください）。 ■ EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（19 ページ）。
画像がコンピュータに転送されない	■ EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定（NTSC または PAL）を調節してください（54 ページの表を参照）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（外部装置の取扱説明書を参照）。

画質に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像が暗すぎるか、露出が不足している	■ 適度な明るさの場所にカメラを移動してください。 ■ 強制発光（41 ページ）を使用するか、被写体を後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（11 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF/AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ P モードを使用して露出補正とフラッシュ補正を調整してください（43 ページ）。 ■ P モード（43 ページ）とセレクタブル AF（59 ページの表を参照）を使用してください。
画像が明るすぎる（露出過多）	■ 光の弱い場所にカメラを移動してください。 ■ フラッシュをオフにしてください（11 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（11 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF/AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ P モードを使用して露出補正とフラッシュ補正を調整してください（43 ページ）。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF/AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ レンズを拭いてください（98 ページ）。 ■ 被写体との距離がマクロ AF 設定、フラワーのマクロモード設定の範囲外の場合は、カメラがマクロ AF モードになっていないことを確認してください。 ■ 被写体との距離が望遠撮影可能範囲外の場合は、カメラが望遠モードになっていないことを確認してください。 ■ 特に、ズームを高倍率に設定している場合や光の弱い場所では、安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用してください。

ダイレクトプリント（PictBridge）に関して

現象	解決方法
目的の画像が見つからない	■ ダイレクトプリントメニューを使用して、画像保管場所を変更してください。
ダイレクトプリントメニュー表示がオフになる	■ メニューを再表示するには任意のボタンを押してください。
画像をプリントできない	■ カメラとプリンターの接続を確認してください（22 ページ）。 ■ プリンターとカメラの電源を確認してください（22 ページ）。
カメラまたはプリンターにエラーメッセージが表示される	■ 指示に従って問題を解決してください。

問題が解決しない場合

www.kodak.co.jp または 83 ページを参照してください。

ダイレクトプリントに関する問題は、プリンターの製造会社に問い合わせてください。

6 サポート情報

役に立つリンク集

カメラ	製品に関するサポート情報 （FAQ、トラブルシューティング情報など）	www.kodak.co.jp
	最新のカメラ用ファームウェアとソフトウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp
ソフトウェア	EasyShare ソフトウェアに関する情報	www.kodak.co.jp （または EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリック）
その他	その他のカメラ、ソフトウェア、アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
	Kodak EasyShare プリンタードックに関する情報	www.kodak.co.jp
	カメラのユーザー登録	www.kodak.co.jp/go/register

電話によるカスタマーサポート

ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、デジタルサポートセンター担当者にお問い合わせください。電話をかける前に、カメラまたはドックをコンピュータに接続しておいてください。次の情報を用意して、コンピュータのそばから電話をかけてください。

- コンピュータのモデル、オペレーティング システム
- プロセッサータイプおよび速度（MHz）
- メモリー容量（MB）とハードディスクの空き容量
- カメラのシリアル番号
- Kodak EasyShare ソフトウェアのバージョン
- 表示されたエラーメッセージ

オーストラリア	1800 147 701	オランダ	020 346 9372
オーストリア	0179 567 357	ニュージーランド	0800 440 786
ベルギー	02 713 14 45	ノルウェー	23 16 21 33
ブラジル	0800 150000	フィリピン／マニラ中心部	1 800 1 888 9600／632 6369600
カナダ	1 800 465 6325	ポーランド	00800 441 1625
中国	800 820 6027	ポルトガル	021 415 4125
デンマーク	3 848 71 30	シンガポール	800 6363 036
インドネシア	001 803 631 0010	スペイン	91 749 76 53
アイルランド	01 407 3054	スウェーデン	08 587 704 21
フィンランド	0800 1 17056	スイス	01 838 53 51
フランス	01 55 1740 77	台湾	0800 096 868
ドイツ	069 5007 0035	タイ	001 800 631 0017
ギリシア	00800 441 40775	トルコ	00800 448 827073
香港	800 901 514	英国	0870 243 0270

インド	91 22 617 5823	米国（フリーダイヤル）／（有料）	1 800 235 6325 ／ 585 781 6231
イタリア	02 696 33452		
日本	03 5540 9002	国際有料電話番号	+44 131 458 6714
韓国	00798 631 0024	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962

www.kodak.com/go/dfiswwcontacts を参照してください。

7 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare P880 ズームデジタルカメラ	
CCD（電荷結合素子）	
CCD	1/1.8 型 CCD、8.3 MP、比率 4:3
出力画像サイズ	3264 × 2448 (8.0 MP) 3264 × 2176 (7.1 MP)、比率 3:2 2560 × 1920 (5.0 MP) 2048 × 1536 (3.1 MP) 1024 × 768 （0.8 MP)
表示	
液晶モニター	2.5 型 カラーハイブリッド液晶モニター、 480 × 240（11.5 万画素）
カラービュー ファインダー－ 電子式（EVF）	LCD と EVF を同時に使用することはできません。 23.7 万画素
プレビュー (LCD ／ EVF)	フレーム速度：30 fps、視野率：100%
レンズ	
撮影レンズ (光学ズーム)	5.8X 光学ズーム、F2.8/4.1 ～ F8.0 (35 mm 換算：24 ～ 140 mm)
デジタルズーム	1.4 倍および 2 倍
2 つのズーム設定を 組み合わせた場合	12 倍

Kodak EasyShare P880 ズームデジタルカメラ	
フォーカス システム	TTL–AF：マルチ AF、センター AF、セレクタブル AF。 操作範囲： 5 cm ～無限遠（広角の場合） 25 cm ～無限遠（望遠の場合） 25 ～ 50 cm（望遠マクロの場合）
レンズフード	あり
レンズの保護	移動式レンズカバー用の溝にレンズキャップを装備
レンズの溝	あり（固定式および移動式レンズカバー用）
露出	
測光方式	TTL-AE：マルチ測光、中央重点測光、スポット測光、 セレクタブル
露出補正	± 2.0 EV（1/3 EV ステップ）
測光 ブラケティング	画像 3 枚または 5 枚（1/3、2/3、1.0 EV ステップから選択可能）
AE/AF ロック	シャッターボタンを押されたかどうかにかかわらず、 AE または AF をロック
シャッター速度	CCD 電子シャッター付きメカニカルシャッター オート：1/2 ～ 1/4000 秒 マニュアル（S、M モード）：16 ～ 1/4000 秒
ISO 感度	オート設定、マニュアル設定 ISO 50 ～ 400（0.8 MP の画像サイズでは使用不可）、ISO 400 ～ 1600 は、画像サイズが 0.8 MP の場合にのみ使用可能。
フラッシュ	
内蔵フラッシュ	ガイドナンバー 9（ISO 100） 操作範囲： 0.5 ～ 4.0 m（広角の場合） 0.5 ～ 3.0 m（望遠の場合）

Kodak EasyShare P880 ズームデジタルカメラ	
外部フラッシュ	Kodak 外部フラッシュユニットを使用した場合のフラッシュ範囲 ガイドナンバー 24（操作範囲 8.6 m、ISO 100、F2.8、広角の場合） ガイドナンバー 40（操作範囲 9.8 m、ISO 100、F4.1、望遠の場合）
フラッシュ補正	–1 ～ +1 EV（0.3 EV ステップ）
ホットシュー	あり
先幕／後幕シンクロ	スローフラッシュ設定の場合にのみ使用可能
撮影	
撮影モード	オート、ポートレート、遠景、フラワー、SCN（8 種類）、PASM、C、動画
連写モード	ファースト、ラスト、インターバル撮影。 約 2.3 コマ／秒
動画撮影	VGA（640 × 480）、30 フレーム／秒 QVGA（320 × 240）、30 フレーム／秒
画像のファイルフォーマット	静止画 JPEG：EXIF 2.21（高画質圧縮、標準圧縮、低画質圧縮） ファイル構成 DCF 静止画 RAW：ファイル構成 Kodak オリジナル 静止画 TIFF：TIFF フォーマット 動画：QuickTime フォーマット（Motion–JPEG）
手ぶれ補正	なし

Kodak EasyShare P880 ズームデジタルカメラ	
内部メモリー／リムーバブル	32 MB 内蔵メモリー／画像保管場所としては 30 MB 使用可能（1 MB を 100 万バイトとして換算）。別売の MMC または SD カード SD (SD ロゴは SD Card Association の商標です)。
画像容量	6 枚（800 万画素、高画質圧縮モード、比率 4:3 の JPEG 画像を内蔵メモリーに保管する場合）
静止画像バッファ	32 MB 内蔵メモリー
再生	
クイックビュー	あり
動画出力	NTSC または PAL
電源	
Kodak リチウムイオン充電式電池 KLIC-5001（または同等）、5V AC アダプター（別売）	
コンピュータ／テレビとの通信	
USB 2.0（PIMA 15740 プロトコル）、USB ケーブル（8 ピン、モデル U-8）、EasyShare カメラドックまたはプリンタードック、AV ケーブル（8 ピン、モデル AV-8）経由	
その他の機能	
PictBridge 対応	あり
セルフタイマー	あり。2 秒または 10 秒
サウンドフィードバック	シャッター、セルフタイマー、エラー／警告、サウンドテーマ
ホワイトバランス	オート、昼光、白熱灯、蛍光灯、曇り、晴天日陰、サンセット、クリック WB、カスタム WB1、WB2、WB3
電源自動オフ	3 分（出荷時設定）、5 分、10 分、15 分、30 分から選択可能

Kodak EasyShare P880 ズームデジタルカメラ	
カラーモード	ヴィヴィッドカラー、ナチュラルカラー、シックカラー、白黒、セピア
シャープネス	シャープ、標準、ソフト
コントラスト	シャープ、標準、ソフト
日付写し込み	なし、YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY
三脚ねじ穴	1/4インチ金属製
動作温度	0～40℃
大きさ	115.8 mm × 97.0 mm × 91.2 mm（広角ズーム使用時）
重さ	513 g（電池またはカードを装着していない場合）

保管容量

実際の保管容量は、被写体の構図、カードのブランドなどさまざまな要因によって異なります。またはカードに他のファイルが含まれているかによって変わります。保管可能な画像／動画の枚数／時間は撮影状況によって異なります。

画像保管容量－ JPEG スタンダード

	JPEG 画像枚数				
	8.0 MP	**7.1 MP（3:2）**	**5.0 MP**	**3.1 MP**	**0.8 MP**
32 MB 内蔵メモリー	10	11	17	26	92
32 MB SD/MMC	9	11	15	24	86
64 MB SD/MMC	20	22	32	50	177
128 MB SD/MMC	40	46	65	101	357
256 MB SD/MMC	82	92	132	203	718
512 MB SD/MMC	165	185	265	408	1440

画像保管容量－ JPEG ベーシック

	JPEG 画像枚数				
	8.0 MP	**7.1 MP（3:2）**	**5.0 MP**	**3.1 MP**	**0.8 MP**
32 MB 内蔵メモリー	16	18	26	40	134
32 MB SD/MMC	15	17	24	37	125
64 MB SD/MMC	31	35	50	77	257
128 MB SD/MMC	64	72	102	156	518
256 MB SD/MMC	129	144	206	314	1042
512 MB SD/MMC	259	290	413	630	2090

画像保管容量 – JPEG ファイン

	JPEG 画像枚数				
	8.0 MP	**7.1 MP（3:2）**	**5.0 MP**	**3.1 MP**	**0.8 MP**
32 MB 内蔵メモリー	6	6	9	15	56
32 MB SD/MMC	5	6	9	14	52
64 MB SD/MMC	11	13	18	28	107
128 MB SD/MMC	23	26	37	58	217
256 MB SD/MMC	46	52	75	117	436
512 MB SD/MMC	94	105	152	235	874

画像保管容量 – RAW および TIFF

画質モード	解像度	圧縮率	推定ファイルサイズ（KB）	保管可能枚数	
				内蔵 32 MB	SD カード 32 MB
8.0 MP	3264 × 2448	RAW	13962	2	2
		TIFF	23464	1	1
7.1 MP（3:2）	3264 × 2176	TIFF	20862	1	1
5.0 MP	2560 × 1920	TIFF	14454	2	2
3.1 MP	2048 × 1536	TIFF	9270	3	3
0.8 MP	1024 × 768	TIFF	2358	13	12

動画保管容量

	動画の分数／秒数	
	VGA（640 × 480）	QVGA（320 × 240）
32 MB 内蔵メモリー	14 秒	56 秒
32 MB SD または MMC	13 秒	52 秒
64 MB SD または MMC	26 秒	1 分 46 秒
128 MB SD または MMC	54 秒	3 分 35 秒
256 MB SD または MMC	1 分 49 秒	7 分 12 秒
512 MB SD または MMC	3 分 39 秒	14 分 28 秒

節電機能

未使用時間	カメラの動作	オンに戻す方法
15 秒、30 秒、1 分、2 分	EVF ／液晶モニターがオフになります。	いずれかのボタンを押します。
3、5、10、15、または 30 分	オフになります。	カメラの電源をオフにし、オンにします。

注：［設定］メニューの［EVF/LCD スタンバイ］と［電源自動オフ］を参照してください（57 ページ）。

アクセサリー

アイテム	説明	
Kodak レンズアダプター	市販の 55 mm 用レンズを装着できます。	www.kodak.com/go/p880accessories
Kodak P20 ズームフラッシュ	特殊なライティングを提供します。カメラのホットシューに取り付けます。	
Kodak 5V AC アダプター	電池の寿命を延ばします。画像の再生や転送時に、カメラに差し込んで使用します。	
Schneider-Kreuznach Xenar 1.4 倍望遠レンズ（55 mm）	高品質の 1.4 倍望遠レンズを使用することによって、被写体にさらに近づくことができます。	
Schneider-Kreuznach Xenar 0.7 倍広角レンズ（55 mm）	汎用性の高い 0.7 倍広角レンズを使用することによって、視野が 30% 広がります。	
Kodak 高性能シリーズデジタルカメラバッグ	おしゃれで丈夫な Kodak EasyShare シリーズデジタルカメラ専用バッグです。	
Kodak リチウムイオン充電式電池 − KLIC-5001	この高容量の電池は最高 300 回まで充電でき、1 回の充電は 3 時間以内に完了します。	
KODAK リチウムイオン充電式電池急速充電器	世界各地で使用可能な 110 ～ 240V 対応の 6 種類のプラグを装備。電池は別売です。	
アクセサリーの全リスト（電池および充電器、カメラケース、カートリッジ、および画像用紙キット、カメラドック、プリンタードック、レンズなど）については、Kodak の Web サイトを確認してください。		

注： Kodak P880 カメラには、52 mm のレンズ溝があり、52 mm のフィルターも使用できます。

安全に関する重要事項

本製品の使用

- Kodak 製品をご使用になる前に以下の指示をお読みになり、指示に従ってください。安全に関する基本的な注意事項には必ず従ってください。
- USB 対応コンピュータのみを使用してください。詳しくは、コンピュータの製造会社に問い合わせてください。
- Kodak が推奨する付属アクセサリー（AC アダプターなど）以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険性があります。
- 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。



注意：
本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。修理については、コダックデジタルサポートセンターにお問い合わせください。本製品を液体、湿気、極度の高温／低温にさらさないでください。Kodak AC アダプターおよび充電器は必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。液晶モニターが破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。コダックデジタルサポートセンターにご連絡ください。

電池の安全な取り扱い



注意：
電池を取り出した後は冷ましてください。熱くなっている場合があります。

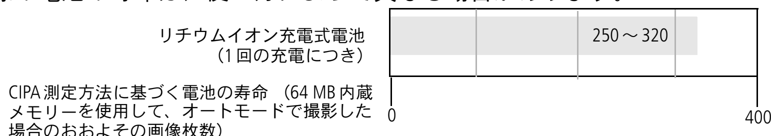
- 電池の製造元が提供する警告および指示をお読みになり、必ず従ってください。
- 爆発の危険性を避けるために、本製品での使用が認可されている電池を必ず使用してください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 硬貨などの金属に電池が触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 電池を分解したり、向きを逆にして装着しないでください。また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
- 長期間に渡って本製品を使用しない場合は、電池を取り外してください。万一、本製品内で電池が液漏れした場合は、修理が必要となります。
- 万一、電池の液漏れが皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
  コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
  〒302-0106 茨城県守谷市緑 2-27-1
  Tel：0297-45-6150
- 充電式でない電池は充電しないでください。

電池については、www.kodak.co.jp を参照してください。

電池に関する情報

交換可能な電池の種類と電池の寿命

実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。



Kodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-5001）以外の電池は使用しないでください。一部の製造会社の 3.7V リチウムイオン充電式電池は、このカメラとの互換性がありません。承認されていないアクセサリーの使用による損害は、保証の対象外となります。

別売の電池：このカメラには、Kodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-5000）を使用できますが、電池の寿命は短くなります。カメラに付属している KLIC-5001（または同等の）電池を使用する場合に比べ、撮影可能枚数は約 30% 少なくなります。

電池を長持ちさせる

■ 次の操作を行うと電池が著しく消耗します。必要な場合以外はこれらの操作を行わないようにしてください。
  - 画像をカメラの液晶モニターで表示する（13 ページを参照）。
  - EVF 画面の代わりにカメラの液晶画面をビューファインダーとして使用する
  - フラッシュ（41 ページ）およびコンティニュアス AF（53 ページ）を必要以上に使用する

■ 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。

- 気温が 5 ℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。
  冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。

次のアクセサリーについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare カメラドック — カメラへの電力の供給、コンピュータへの画像の転送、および Kodak リチウムイオン充電式電池の充電を行います。

Kodak EasyShare プリンタードック — カメラへの電力の供給、コンピュータを使用した（または使用しない）L サイズのプリント、画像の転送、付属の Kodak リチウムイオン充電式電池の充電を行います。

Kodak 5V AC アダプター — カメラへの電力の供給を行います。

重要： Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードックに付属の AC アダプターは使用しないでください。

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア（カメラ上で実行されているソフトウェア）の最新バージョンをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

その他の手入れとメンテナンス

- 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、電池とカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。
- レンズまたは液晶モニターの埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。

- 国によってはサービス契約があります。詳しくは、Kodak 製品取扱店に問い合わせてください。
- デジタルカメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。米国内の場合は、Electronics Industry Alliance の Web サイト（www.eiae.org）または Kodak の Web サイト（www.kodak.com/go/p880support）を参照してください。

保証

限定保証

Kodak は、Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリー（電池を除く）が購入日から一年間、素材および製造上に起因する不具合がないことを保証します。

購入日が明記された保証書または領収書のオリジナルは保管しておいてください。保証期間内の修理には、購入日の証明が必要になります。

限定保証の対象

この制限付きの保証は、Kodak デジタルカメラおよびアクセサリーを購入した地域においてのみ有効です。

保証期間中に Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリーが正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。この修理サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。これらの修理または交換が唯一の保証手段となります。

修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。

制限

保証による修理の要請には、購入日が明記された Kodak EasyShare デジタルカメラまたはアクセサリーの領収書のコピーなどの証明が必要になります（領収書のオリジナルは記録として必ず保管しておいてください）。

この保証は、デジタルカメラまたはアクセサリーに使用されている電池には適用されません。Kodak の管理の及ばない状況や、お客様が Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリーのユーザーガイドの操作指示に従わなかったために発生した問題は、この保証の対象外となります。

出荷による損傷、事故、改造、変更、認可されていない修理、誤用、乱用や、互換性のないアクセサリーや機器と併用した場合、Kodak の操作、保守、開梱の指示に従わなかった場合、Kodak 提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障、または保証期間が過ぎてからのクレームには、この保証は適用されません。

Kodak は、この製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は購入日から一年間とします。

Kodak が負う唯一の責務は交換オプションです。Kodak は、原因にかかわらず、この製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入、使用、故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害、代替機器の費用、設備やサービス、顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認し、これを除外します。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

 Kodak EasyShare P880ズームデジタルカメラ

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます）、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラス B 準拠 — このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリア C-Tick マーク



廃電気電子機器に関するラベル



EU（欧州連合）諸国では、本製品を無分別の都市ゴミとして廃棄しないでください。リサイクルプログラムに関する情報については、最寄りの自治体に問い合わせるか、wwww.kodak.com/go/recycle を参照してください。

韓国 Class B ITE

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

英語訳

As this equipment has obtained EMC registration for household use, it can be used in any area including residential areas.

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

英語訳

This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference from Information Technology Equipment (VCCI).If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference.Install and use the equipment according to the instruction manual.

索引

A

ACアダプター , 98
AE/AFのロック , 36
AE/AFロックボタン , ii, 36
AE/AFロックボタンの設定 , 55
AFコントロール , 53, 59
AF補助光LED, 11, 54
A/V出力 , i, 66

C

Class B ITE, 102
CモードとPASMモード , 43

D

DC入力（5V）, i
Delete（削除）ボタン , ii
Drive（ドライブ）ボタン , i

E

EasyShareソフトウェア , 19
EVF／LCD切り替えボタン , ii
EVF/LCDスタンバイ , 57

F

FCC準拠 , 101
Focus（フォーカス）ボタン , i

I

ISO感度 , 45
ISOボタン , ii

J

JPEG, 52

K

Kodak EasyShareソフトウェア
アップグレード , 98
インストール , 19
Kodak Webサイト , 83

L

LCD輝度 , 54
LEDインジケータ , i

M

Macintosh、
ソフトウェアのインストール , 19
Menu（メニュー）ボタン , ii
MFアシストAF, 38

O

OKボタン , ii

P

PASMモードとCモード , 42
PictBridgeプリンター , 22
Program（プログラム）ボタン , 27
Program（プログラム）ボタン、
サブメニューに直接アクセス , 39

R
RAW, 52, 62, 92
Review（再生）ボタン , ii, 13

S
SCN（シーン）モード , 30
SD/MMC カード
　スロット , ii
　挿入 , 5
　プリント元 , 21
　保管容量 , 91

T
TIFF, 52, 92

U
URL、Kodak Web サイト , 83
USB ケーブル（モデル U-8）, 20
USB 端子 , i
USB（ユニバーサルシリアルバス）
　画像の転送 , 19

V
VCCI 準拠 , 102

W
WB（ホワイトバランス）ボタン , ii
Windows
　ソフトウェアのインストール , 19

あ
アイコン、モードダイヤル , 25
赤目 , 55
アクセサリー
　AC アダプター , 98
　SD/MMC カード , 5
　外部フラッシュ , 12
　カメラ , 94
　カメラドック , 98
　電池 , 97
　プリンタードック , 21, 98
　レンズ , 57
後幕 , 88
アルバム、画像の指定 , 66, 68
アルバムの事前設定 , 54
安全
　電池 , 96

い
インストール
　ソフトウェア , 19
インターバル撮影 , 34

う
ヴィヴィッドカラー , 52

え
液晶モニター , ii

お

オート
フォーカスフレーミングマーク , 8
オート発光 , 41
オートフォーカス , 59
オートフォーカス（AF）, 36
お気に入り , 25
E メール送信 , 74
指定 , 71
消去 , 73
設定 , 73
プリント , 74
お気に入りの消去 , 73
オフ、フラッシュ , 42
オンラインプリント、オーダー , 22
音量 , 56

か

ガイドライン、電池 , 97
外部ビデオ装置
画像、動画の表示 , 66
外部フラッシュ , i, 12, 57
画質 , 40, 51, 52
カスタマーサポート , 84
カスタマイズ、ホワイトバランス , 59
カスタム , 29
カスタムにコピー , 61
カスタム露出モード , 61
画像
E メール送信用に指定 , 70
USB ケーブルでの転送 , 19
圧縮 , 52
共有 , 69
コピー , 64
再生 , 13
削除 , 18
撮影、モード , 25
指定 , 66, 68
情報の表示 , 63
設定の確認 , 7
設定の変更 , 50
プリント用に指定 , 69
保管容量 , 91
保護 , 17
画像、動画情報の表示 , 58
画像、動画の E メール送信 , 70
画像、動画の情報 , 58
画像、動画の保護 , 17
画像のコピー
USB ケーブルでコンピュータに , 19
カードからメモリー , 64
メモリーからカード , 64
画像の再生
削除 , 18
撮影時 , 7
スライドショー , 65
複数画像の選択 , 14
保護 , 17
画像の撮影 , 6
画像の指定
アルバム , 66, 68

画像のダウンロード, 19
画像の表示
　撮影後, 7
画像保管場所, 54
カナダ準拠, 101
カメラアクセサリー, 94
カメラドック, 98
カメラの設定のカスタマイズ, 54
カメラの電源のオンとオフ, 3
カメラの取り扱い, 98
カメラを出荷時設定にリセット, 57
カラーモード, 52
簡易圧縮, 52

き
規格情報, 101
　Class B ITE, 102
逆光, 30
キャンドルライト, 30
強制発光, 41
切り取り、動画, 61

く
クイックビュー, 56
　使用, 7
　設定のオン／オフ, 56
クリッピング、ハイライト, 48
グリップ, i

け
ケーブル
　オーディオ／ビデオ, 66
言語, 4, 57

こ
光学ズーム, 10
高画質圧縮, 52
コネクタ
　ドック, ii
このカメラの情報, 58
コマンドダイヤル、高速設定変更, ii, 47
ごみ箱、削除, 7
コンティニュアス AF, 53, 59
コントラスト, 60
コンピュータ
　カメラの接続, 19
　転送先, 19

さ
サービスとサポート
　電話番号, 84
サイズ変更、静止画, 61
再生モードのアイコン, 15
サウンドテーマ, 56
削除
　SD/MMC カードから, 18
　画像、動画の保護, 17
　クイックビュー時, 7
　内蔵メモリーから, 18

撮影, 6
画像, 6
動画, 6
撮影モード
シャッターを半分押す, 9
ライブビュー, 9
サブメニュー、Program（プログラム）ボタンを使用して直接アクセス, 39
サポート、技術, 84
サムネール、表示, 13
サンセット, 30

し

時刻、設定, 4
シックカラー, 52
指定
E メール, 70
お気に入り, 71
プリント, 70
自動
電源オフ, 93
自動露出（AE）, 36
視度調整ダイヤル, 6
絞り, 42
シャープネス, 60
シャッター速度, 43
シャッターボタン, i
シャッター、問題, 77
ジョイスティック／OK ボタン, ii
仕様、カメラ, 86
情報
画像、動画, 58
情報ボタン, ii
書類, 30
白黒, 52
シングル AF, 53, 59

す

ズーム
光学, 10
デジタル, 10
ズームレバー, 10
スノー, 30
スポーツ, 30
スポット測光, 46
スライドショー
繰り返し再生, 66
実行, 65
問題, 79
スライドショーの実行, 65
スライドショーの表示, 65
スリープモード, 93
スローシンクロ, 60, 88

せ

設定

AE/AF ボタン , 55

AF コントロール , 53, 59

EVF ／液晶モニターの

タイムアウト , 57

LCD 輝度 , 54

オートフォーカス , 59

画質 , 40, 51, 52

画像保管場所 , 54

カラーモード , 52

言語 , 4, 57

撮影モード , 25

電源自動オフ , 57

動画画質 , 53

動画撮影時間 , 55, 56

日付写し込み , 52

日付／時刻 , 4, 57

ビデオ出力 , 57

設定モード、使用 , 54

セピア , 52

セルフタイマー , 33

セルフタイマー／ AF 補助光 LED, i

セルフタイマーを使った撮影 , 33

セレクタブル AF, 47, 59

センター AF, 59

そ

装着

電池 , 3

挿入

SD/MMC カード , 5

測光ブラケティング , 34, 87

測光ブラケティングによる露出補正, 47

測光方式 , 46, 87

測光ボタン , i

測光モード

スポット , 46

セレクタブル AF, 47

中央重点 , 46

マルチ , 46

ソフトウェア

アップグレード , 98

インストール , 19

ソフトウェアのアップグレード、

ファームウェア , 98

た

ダイヤル

コマンド , ii

モード , i

縦横補正 , 56

ち

中央重点測光 , 46

て

デジタルズーム , 10

デジタルズームボタン , i

手ぶれ補正 , 88

テレビ、スライドショー , 66
電源 , i
　カメラ , 3
　自動オフ , 93
電源オフ、自動 , 93
転送、USB ケーブル経由 , 19
電池
　安全 , 96
　充電 , 2
　寿命 , 97
　装着 , 3
　挿入口 , ii
電池の充電 , 2
電話によるサポート , 84

と

動画 , 29
　E メール送信用に指定 , 70
　コピー , 64
　コンピュータに転送 , 19
　再生 , 13
　削除 , 18
　情報の表示 , 63
　設定の確認 , 7
　保管容量 , 91
　保護 , 17
動画画質 , 53
動画撮影時間 , 55, 56
動画の再生
　削除 , 18
　スライドショー , 65
　保護 , 17
時計、設定 , 4
ドック
　カメラ , 98
　プリンター , 21, 98
ドックコネクタ , ii
ドライブモード
　インターバル撮影 , 34
　シャッター遅延 , 33
　セルフタイマー , 33
　測光ブラケティング , 34
　ファースト連写 , 33
　ラスト連写 , 33
トラブルシューティング , 76
取り付け
　フラッシュユニット , 12
トリミング、静止画 , 61
トリミング、動画 , 61

な

内蔵メモリー
　画像保管場所の選択 , 54
　保管容量 , 91
ナチュラルカラー , 52

は
パーティー , 31, 33
廃棄、 リサイクル , 99
ハイライトクリッピング , 48

ひ
ビーチ , 30
ヒストグラム , 49
日付写し込み , 52
日付／時刻 , 4, 57
日付設定 , 4
ビデオ出力 , 57
ヒント
手入れとメンテナンス , 98
電池に関するガイドライン , 97

ふ
ファームウェア、アップグレード , 98
フォーカスフレーミングマーク , 8
フォーカスモード , 31
手動 , 32
標準 AF, 31
マクロ , 31
無限遠 , 31
フォーマット , 58
複数画像の選択 , 14
フラッシュ
オート発光 , 46
オン／オフ , 11
外部 , 12, 57
スローシンクロ , 60
ボタン , i
フラッシュ設定 , 41
フラッシュ補正 , 43
フラッシュモード
オート発光 , 41
オフ , 42
強制発光 , 41
スローシンクロ , 42
フラッシュ有効範囲 , 11
フラワー、 マクロ , 27
フリップアップ式フラッシュ , 11
プリンターからの
カメラの取り外し , 23
プリンタードック , 21, 98
プリント
EasyShare プリンタードックの
使用 , 21
PictBridge, 22
オンラインでのオーダー , 22
カードから , 21
指定された画像 , 21
プリンターの最適化 , 83
フレーミングマーク , 8
プログラムボタン（再生）, 55
プログラムボタン（撮影）, 55
分割とマージ、動画 , 61

へ
ヘルプ
Web リンク , 83
編集、静止画／動画 , 61

ほ

ポートレート , 33
保管容量 , 91, 92, 93
保証 , 99
ボタン
  AE/AF, ii
  Delete（削除）, 7
  Drive（ドライブ）, i
  Focus（フォーカス）, i
  ISO, ii
  Menu（メニュー）, ii
  Review（再生）, ii, 13
  WB（ホワイトバランス）, ii
  シャッター , i
  情報 , ii
  測光 , i
  デジタルズーム , i
  フラッシュ , i
ホットシュー、外部フラッシュ , i, 88
ホワイトバランス , 59

ま

マイクロフォン , i
枚数、連写 , 35
マクロ , 31
マクロ、フラワー , 27
マナー , 30
マニュアル , 28
マニュアルズームリング , i
マニュアルフォーカスアシスト AF, 55
マニュアルフォーカスリング , i
マルチ AF, 59
マルチ測光 , 46

む

無限遠フォーカス , 31

め

メモリー
  カードの挿入 , 5
  保管容量 , 91
メンテナンス、カメラ , 98

も

モード , 25, 29
  オート , 26
  カスタム , 29
  カスタム露出 , 61
  逆光 , 30
  キャンドルライト , 30
  サンセット , 30
  書類 , 30
  スノー , 30
  スポーツ , 30
  パーティー , 31, 33
  ビーチ , 30
  プログラム , 27
  マナー , 30
  マニュアル , 28
モードスイッチ , i
モードダイヤル , i, 25
モードテキスト , 56

よ

読み込み
ソフトウェア, 19

ら

ライト
セルフタイマー、AF 補助光 LED, i
ランプ
充電器, 2

り

リサイクル、廃棄, 99

れ

連写枚数, 35
連写モード, 33
レンズ, i
クリーニング, 98
レンズキャップ, 1
レンズの絞り, 42
レンズフード, i, 2, 87
連続撮影, 33, 34

ろ

露出補正, 43

Kodak EasyShare P880 Zoom デジタルカメラ ユーザーガイド 正誤表

ページ	記載場所	誤	正
5	注：	54ページの表を参照	58ページの表を参照
10	デジタルズームの使用　注：	デジタルズームは静止画のP、A、S、M、Cでのみ使用できます。	デジタルズームは動画モードと0.8MPの画像サイズの静止画撮影では使用できません。
15	再生モードのアイコンについて	選択数/合計数	番目/選択合計数
16	デジタルズームボタン	1～10倍に拡大します（2倍きざみ）	1～10倍に拡大します（1倍きざみ）
17	画像と動画の保護③	OKまたはSet(セット）ボタンを押します。	OKボタンを押します。
23	画像のプリント		追加⇒RAWとTIFFはカメラから直接プリントできません。
31	フォーカスモード無限遠　説明	フラッシュは常に発光しません。	削除
33	ドライブモード	ファースト連写 フラッシュは常に発光しません。（TIFFでは使用できません）。 シャッターボタンが押されている間に2.3コマ/秒の速度で画像が撮影されます。保存される画像数については35ページを参照して下さい。	ファースト連写 フラッシュは常に発光しません。（TIFF、RAWでは使用できません）。 シャッターボタンが押されている間に0.6秒間隔の速度で画像が撮影されます。保存される画像数については35ページを参照して下さい。
33	ドライブモード	ラスト連写 フラッシュは常に発光しません。（TIFFでは使用できません）。 シャッターボタンが押されている間に2.3コマ/秒の速度で画像が撮影されます。（35ページを参照）。保存される画像数については35ページを参照して下さい。	ラスト連写 フラッシュは常に発光しません。（TIFF、RAWでは使用できません）。 シャッターボタンが押されている間に、0.8秒間隔で最大30枚の画像が撮影されます。シャッターボタンを離すと、最後に撮影された6枚の画像だけが保存されます。
34	測光ブラケティング5	Tiffでは使用できません	Tiff、Rawでは使用できません
34	ドライブモード	インターバル撮影 フラッシュは常に発光しません。（TIFFでは使用できません）。 指定した枚数（1～99）の画像を指定した間隔（10秒～24時間）で撮影します。	インターバル撮影 指定した枚数（2～99）の画像を指定した間隔（10秒～24時間。TIFF、RAWでは撮影間隔は1分～24時間）
35	連写枚数 注：	注：TIFFフォーマットは、連写モードでは使用できません。	注：TIFF/RAWフォーマットは、連写モードでは使用できません。
35	ファイルタイプ RAW 枚数	3	0
37	AE/AFボタンの使用 AFL	フォーカスロックを使用すると、AFが機能しない可能性のある被写体やシーンでも、露出を正確に設定できます。	フォーカスロックを使用すると、AFが機能しない可能性のある被写体やシーンでも、フォーカスを正確に設定できます。
39	Program（プログラム）ボタンの使用	ボタンのプログラム（初期設定）	プログラムボタンの使用
39		2回目以降のボタンのプログラム	プログラムボタンの設定
40	再生設定のプログラム　ショートカットメニュー選択　表	Rawファイル現像	削除⇒Rawファイル現像 追加⇒スライドショー
41	赤目軽減発光	54ページの表を参照してください。	55ページの表を参照してください。

Kodak EasyShare P880 Zoom デジタルカメラ ユーザーガイド 正誤表

ページ	記載場所	誤	正
42	フラッシュモード	スロー発光 ｜ シャッター速度にかかわらず、シャッターボタンが完全に押された直後に発光します。遅いシャッター速度での撮影時のみ有効です。その他のスローシンクロ設定については、59ページを参照してください。	スローシンクロ ｜ 遅いシャッター速度でフラッシュ撮影をする時に使用します。その他のスローシンクロ設定については、60ページを参照してください。
43	PASMモードとCモードの設定の変更	グレー—選択不可	青色—選択不可
46	ISO感度の設定と画像サイズの設定表： ISO	ISO 50〜200	ISO 50〜400
48	高速設定変更に使用可能な機能ボタン	Program（プログラム）ボタン	削除
49	ヒストグラムの使用	シャドウ補正 ハイライト補正	シャドウ ハイライト
54	設定	AF補助光 LED	ローライトAF LED
55	設定 赤目軽減	設定：赤目軽減 ｜ 設定値/内容：プレ発光のみ（出荷時設定） プレ発光＆オート強制 オート強制のみ	設定：赤目軽減 ｜ 設定値/内容：プレ発光のみ（出荷時設定） プレ発光＆自動補正 自動補正のみ
56	縦横補正 設定値/内容	オン（出荷時設定） オフ	オン オフ（出荷時設定）
57	アクセサリ-レンズ	アクセサリーレンズを使用する場合は、焦点が合っているか確認してください。	アクセサリーレンズを使用する場合にオンにします。
	設定	外部フラッシュ	削除
62	通常に使用可能なRAWファイルのコピーの作成	この機能を使用すると、通常に使用可能なRAWファイルのコピーを作成し、調整することができます。	この機能を使用すると、RAWファイルを現像し、JPEGまたはTIFFファイルを作成できます。画質の調整をすることもできます。
	④	▲/▼を動かして［RAWファイル］を選択し、	▲/▼を動かして［RAW現像］を選択し、
63	オプションの再生メニューの使用	編集 RAWファイル現像 動画の日付表示	編集（JPEGのみ） RAWファイル現像（RAWのみ） 動画の日付表示（動画のみ）
70	プリントする画像の指定 注		追加⇒RAW、TIFFファイルはプリント指定できません。
71	カメラでの画像や動画の指定 4	1 つの画像または動画を指定した場合は、同じアドレスを持つ他の画像／動画を指定し、を押します。	1 つの画像または動画を指定した場合は、同じアドレスを他の画像／動画に設定できます。
87	仕様 フォーカスシステム	TTL-AF：マルチAF、センターAF、セレクタブルAF。 操作範囲： 5cm〜無限遠（広角の場合） 25cm〜無限遠（望遠の場合） 25〜50cm（望遠マクロの場合）	TTL-AF：マルチAF、センターAF、セレクタブルAF。 操作範囲： 50cm〜無限遠（通常AFの場合） 25〜50cm（マクロAFの場合）
88	仕様 連写モード	ファースト、ラスト、インターバル撮影 約2.3コマ/秒	ファースト（0.6秒間隔 JPEG記録時）、ラスト（0.8秒間隔 JPEG記録時）、インターバル撮影
94	アクセサリー 項目	Schneider-Kreuznach Xenar 0.7倍広角レンズ （55mm）	削除